

2019 年度スポーツ庁
大学スポーツ振興の推進事業
(大学スポーツアドミニストレーター配置事業)

成果報告書



2020（令和）2年3月
長崎国際大学

目 次

1. 事業の概要
 - (1) 委託事業の内容：事業主旨・目的
 - (2) 委託事業の内容

2. 事業報告書（事業結果説明書）
 - (1) 事業、また「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」関連事業の実施状況
 - (2) 事業の実績の説明
 - (3) 事業実施におけるアンケートについて
「UNIVAS 認知度」、「大学スポーツ振興、及び地域スポーツ振興の必要性」
「参加者アンケート」
 - (4) 事業実施におけるメディア報道について
 - (5) 本事業における評価
 - ①自己評価 ②外部評価、意見聴取

3. 本学におけるスポーツ分野統括業務、及びスポーツ・アドミニストレーター業務について
 - (1) スポーツ分野統括業務
 - (2) スポーツ・アドミニストレーター業務（経歴含む）
 - (3) NCAA 視察研修を終えて

4. 大学スポーツ振興、地域スポーツ振興における先進的モデルについて
 - (1) 大学スポーツ振興
 - (2) 地域スポーツ振興
 - (3) 「スポーツプロジェクト推進協議会」について

5. 総括

6. 謝辞

【添付資料】

- ・各事業のチラシ、出張復命書、各種アンケート、11/19（水）「連携連絡会議」要項他

1. 事業の概要

(1) 委託事業の内容：事業主旨・目的

本学の現状は、「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」における同協会へ加盟、また本学では10/1現在、強化指定部12団体：355人、体育会運動部8団体；116人、計20団体：471人（学生対比20.7%）となり、これらの学生に対する様々な支援の必要性の高まりにより、本取り組みを実施することとなった。本事業を遂行することで、本学のスポーツ環境（教職員、学生）が近隣地域における「スポーツ振興」について重要な役割を担う立場になることも推察され、今後どのような組織により事業を実施するかが課題であった。さらに、2020年度「本学20周年」に向けて、スポーツの醸成という観点で学内を盛り上げ、その結果、本学のブランド向上にも繋がると考えた。

また、本取り組みは、本学に対し「地域スポーツ振興」において本学支援者であるステークホルダー増だけでなく、本学へのスポーツ系学生の入学の可能性大、また本学が所在する長崎県は人口流出（表1）が多い現状、さらにスポーツの分野においても競技人口が減少（表2）していることから本県の「人口流出対策」だけでなく、「地域スポーツ振興」の一役を担うと考え遂行した。

表1.

総務省：住民基本台帳人口移動報告【2019(令和元)年12月人子移動の概況】

表2 都道府県別転入・転出者数（移動者（外国人含む））

都道府県	転入者数				転出者数				転入超過数 (-は転出超過)	
	2019年12月	2018年12月	対前年同月増減		2019年12月	2018年12月	対前年同月増減		2019年12月	2018年12月
			実数	率(%)			実数	率(%)		
福岡県	5,475	5,479	-4	-0.1	4,995	4,883	112	2.3	480	596
佐賀県	949	1,012	-63	-6.2	993	937	56	6.0	-44	75
長崎県	1,151	1,171	-20	-1.7	1,265	1,323	-58	-4.4	-114	-152
熊本県	1,631	1,516	115	7.6	1,545	1,376	169	12.3	86	140
大分県	1,110	1,052	58	5.5	1,056	1,022	34	3.3	54	30
宮崎県	1,125	1,038	87	8.4	848	892	-44	-4.9	277	146
鹿児島県	1,425	1,365	60	4.4	1,311	1,302	9	0.7	114	63
沖縄県	1,644	1,740	-96	-5.5	1,472	1,330	142	10.7	172	410

表2.

長崎県【中学・高校・大学】 競技別（テニス、バレーボール、野球）登録人数

長崎県 【高校】	テニス					バレーボール					野球(硬式)				
	男(校数)	男(人数)	女(校数)	女(人数)	計(人数)	男(校数)	男(人数)	女(校数)	女(人数)	計(人数)	加盟校数	1年生	2年生	3年生	計
平成29年度	26	644	22	326	970	37	714	62	1113	1827	57	734	756	752	2242
平成30年度	25	501	21	233	734	40	713	58	1020	1733	57	688	682	742	2112
令和元年度	23	563	21	226	789	39	774	55	1037	1811	57	687	673	666	2026

引用元：公益財団法人全国高等学校体育連盟HP、公益財団法人日本高等学校野球連盟HP

長崎県 【中学】	テニス					バレーボール					軟式野球								
	加盟校数(男子)	参加生徒数(男子)	加盟校数(女子)	参加生徒数(女子)	計(人数)	加盟校数(男子)	参加生徒数(男子)	加盟校数(女子)	参加生徒数(女子)	計(人数)	合同部活動実施チーム数(2校)	合同部活動実施チーム数(3校)	加盟校数(男子)	参加生徒数(男子)	加盟校数(女子)	参加生徒数(女子)	計(人数)	合同部活動実施チーム数(2校)	合同部活動実施チーム数(3校)
平成29年度	14	288	14	154	442	70	845	142	1938	2783	4	—	125	2115	0	29	2144	12	3
平成30年度	16	254	11	142	396	72	814	138	1737	2551	5	—	122	1986	0	35	2021	11	1
令和元年度	11	198	10	136	334	69	763	129	1601	2364	11	—	100	1895	0	52	1947	4	0

引用元：公益財団法人日本中学校体育連盟HP

長崎国際大学	テニス部			バレーボール部			野球部		強化指定部 (10部)
	男子部員	女子部員	計	男子部員	女子部員	計	男子部員	計	
平成29年度	10	6	16	27	23	50	135	135	334
平成30年度	14	6	20	30	23	53	188	188	380
令和元年度	16	6	22	33	24	57	65※	165※	355

(2) 委託事業の内容

本取り組みは以下の2事業により構成している。

- スポーツプロモーション事業
- 学生スポーツアドミニストレーター育成事業

この2事業の詳細な内容については以下のとおりである。

【スポーツプロモーション事業（以下、SP事業）】

- ・指導者育成事業、指導者招聘事業、指導者研修事業
- ・ブランディング、及び収益事業
- ・トップ選手育成事業
- ・サポート事業
- ・小学校・中学校部活動強化プロジェクト事業

【学生スポーツアドミニストレーター（SA）育成事業（以下、SA事業）】

- ・地域貢献事業（園児、生徒：体育授業、部活動サポート事業）
- ・教育プロジェクト事業
- ・SA研修事業
- ・調査事業
- ・表彰事業※賞に関しては予定
- ・他大学との交流事業
- ・学生アスリートキャリア支援事業・修学支援事業
- ・学童&スポーツプロジェクト事業

2. 事業報告書（事業結果説明書）

- (1) 事業、また「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」関連事業の実施状況
 本事業、並びに本事業に関連した事業における報告書

実施時期	事業項目
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・6/3（月）ミズノ(株)来学 来学目的：本法人と同社との連携締結の可能性について ・6/5（水）大塚製薬(株)専門家による「熱中症対策講習会 対象：スポーツ系学生」実施 ・6/7（金）ミズノ(株)九州支社訪問 訪問目的：本法人と同社との連携事業における具体的な事業について協議 ・6/19（水）ハスポ（地元：スポーツ代理店）来学 来学目的：本学とのスポーツ分野における連携の可能性について ・6/19（水）【学内会議】第1回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 ・6/20（木）佐世保市教育委員会学校保健課、スポーツ振興課訪問 訪問目的：スポーツ分野における佐世保市との連携可能性の協議 ・6/28（金）本事業申請書提出 ※6月第3回地域連携センター会議⇒6月全学教授会 本事業申請について承認。「スポーツ・アドミニストレーター内規」承認
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・7/2（火）佐世保市教育委員会学校保健課、スポーツ振興課訪問 訪問目的：本事業における申請内容の説明 ・7/3（水）～6（土）中京大学訪問 訪問目的：7/4同大学スポーツ振興課との情報交換 7/5大学スポーツ改革シンポジウム 参加 7/6（交流戦視察）男子バレーボール 中京大学 vs 筑波大学 ・7/11（木）～7/14（日） 九州ブロック大会佐賀大会：長崎県テニス協会国体強化委員長として帯同 ・7/17（水）、18（木）本事業採択通知 ・7/23（火）長崎県教育委員会スポーツ振興課

	<p>訪問目的：本事業採択報告、及びスポーツ分野における長崎県との連携可能性の協議</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/24 (水) 佐世保市教育委員会スポーツ振興課 <p>訪問目的：本事業採択報告、及び本事業における具体的な活動、及び協力要請</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/26 (金) スポーツ庁訪問 訪問目的：本事業採択によるヒアリング 7/31 (水) 【学内会議】第2回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会
8月	<ul style="list-style-type: none"> 8/2 (金) 【起案】スポーツ庁：「Sports in life」ロゴマーク使用申請について 8/8 (木) ミズノ(株)来学 <p>来学目的：本事業採択報告、及び具体的な連携事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 8/21 (水)～25 (土) 追手門学院大学茨木総持寺キャンパス訪問 <p>九州学生テニス連盟：九州学生夏季テニス選手権大会、本学テニス部監督として帯同</p> <p>※8月第5回地域連携センター会議</p> <p>スポーツ庁：「Sports in life」加盟申請、承認。</p>
9月	<ul style="list-style-type: none"> 9/5 (木)～6 (金) UNIVAS 研修会管理者セミナー&指導者セミナー 9/8 (日)～13 (金) 九州学生テニス連盟：1部リーグ戦、本学テニス部監督として帯同 9/16 (月)～17 (火) Being 研修 主催：キャリアセンター <p>同研修はリーダー養成講座として実施し、スポーツ系学生22人参加。</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/17 (火) ミズノ(株)来学 <p>来学目的：本事業採択報告、及び具体的な連携事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/17 (火)～3/19 (木) 本事業契約期間 9/25 (水) 【学内会議】第3回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 9/25 (水) パン・パブ(株) 来学 <p>来学目的：大学HP「NIU スポーツ」打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 9/28 (土)～10/2 (水) 茨城国体：長崎県テニス協会国体強化委員長として帯同
10月	<ul style="list-style-type: none"> 10/11 (金)、10/23 (水) 佐世保市教育委員会 訪問 <p>訪問目的：「NIU キッズキャンパス」開催による協力要請</p> <ul style="list-style-type: none"> 10/21 (月) 学生会主催「部代表者会議」にて、学生公認団体の主将・主務に対し、本事業、及びUNIVASの状況について説明 10/24 (木) 「大学スポーツの振興に係るシンポジウム：主催スポーツ庁」参加 10/30 (水) 第15回トップアスリートから学ぶ <p>テーマ：体格が劣る日本人が世界と戦う為に必要なもの</p> <p>講師：コカ・コーラレッドスパークス 向井昭吾監督 (ラグビー元日本代表監督)</p> <ul style="list-style-type: none"> 10/30 (水) 【学内会議】第4回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 10/31 (木) JAL 長崎支店 来学 <p>来学目的：11/30開催「NIU キッズキャンパス」打ち合わせ、及び本事業連携事業の可能性について協議</p>
11月	<ul style="list-style-type: none"> 11/2 (土)、3 (日) 大学祭にて本学テニス部 募金活動を目的とした模擬店出店 11/9 (土)、16 (土) チャレンジスポーツ 開催 11/10 (日) 「令和元年度 公益財団法人ライフスポーツ財団 キッズスポーツインストラクターセミナー」学生3人、教員1人参加し、トップインストラクター取得。 11/12 (水) ミズノ(株)来学 <p>来学目的：本事業における具体的な事業について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/15 (金) 付：長崎新聞社掲載「スポーツを通じ地域貢献」 11/19 (水) 連携連絡会議 <p>【第1部】審議事項：「スポーツプロジェクト推進協議会」発足について</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/21 (木)、22 (金) 【学内】指導者講習会 <p>学内指導者に対する本事業、及びUNIVASの状況について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> 11/22 (金) ①佐世保市教育委員会⇒②九州文化学園小学校・中学校 <p>訪問目的：①11/30開催「NIU キッズキャンパス」打ち合わせ、及び12/8 (日) 「スポーツフェスタ」後援依頼について</p> <p>②本事業における連携事業の協議</p>

	<ul style="list-style-type: none"> 11/27 (水) 九州文化学園小学校・中学校 訪問目的：本事業、特に「学童&スポーツプロジェクト」における協議 11/28 (木) 付：スポーツニッポン 長崎国際大学バレーボール部 11/30 (土) NIU キッズキャンパス 開催
12月	<ul style="list-style-type: none"> 12/4 (水) 【学内会議】第5回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 12/7 (土) ~10 (火) 12/7：移動日 12/8~9：「2019 公認指導者講師競技別<テニス>全国研修会」 場所：味の素 NTC 12/10：筑波大学 AD 局 訪問 訪問目的：同大学との情報交換 12/7 (土) NAGASAKI しごとみらい博 場所：長崎県庁 12/8 (土) スポーツフェスタ 開催 12/8 (土) 「パラリンピアンと考える障がい者スポーツ」講演会 開催 12/11 (水) 長崎県立佐世保北中学校訪問 訪問目的：本事業の説明、並びに連携事業の可能性について 12/25 (水) 鹿屋体育大学スポーツアライアンス室、及び経営戦略室訪問 訪問目的：同大学とのスポーツ支援・振興における情報交換
1月	<ul style="list-style-type: none"> 1/11 (土) スポーツセミナー 大塚製薬(株)×ミズノ(株)×長崎国際大学コラボ企画 【第1部】大塚製薬(株) スポーツセミナー テーマ：スポーツにおける「水分補給と栄養の大切さ」 【第2部】ミズノ(株) プレイリーダー講習会 (3級) 1/16 (木) 長崎県立佐世保北中学校訪問 訪問目的：本事業「部活動プロジェクト」の打ち合わせ 1/17 (金) 佐世保市教育委員会学校保健課、スポーツ振興課訪問 訪問目的：本事業における「部活動プロジェクト」、「大学部活動インターンシップ：対象 中学生」、及び「大学交流戦+体験教室」について、協力要請。 1/18 (土) 「令和元年度国体強化スタッフ研修会」参加 同研修会にて、行政、他競技団体強化スタッフとの情報交換。また同日開催のトレーニング講習会にて、講師：小田氏 (日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、所属 TORQUE) と情報交換し、2月本学開催予定の「スポーツ庁採択事業：強化指定部トレーニング講習会」の講師依頼を行ない、前向きな回答を得た。 ⇒交渉後、2/17 (月)、25 (火) 開催する旨、確定した。 1/20 (月) ~26 (日) カリフォルニア州アナハイム近郊 3大学視察及び NCAA コンベンション会議参加 1/22 (水) 【学内会議】第6回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 1/25 (土) 付：西日本新聞社掲載「スポーツで地域活性」 1/30 (木) 佐世保市教育委員会学校保健課、スポーツ振興課訪問 訪問目的：本事業における「部活動プロジェクト」、「大学部活動インターンシップ：対象 中学生」、及び「大学交流戦+体験教室」について、広報許可。 1/31 (金) ミズノ株式会社と学校法人九州文化学園との連携協定締結式
2月	<ul style="list-style-type: none"> 2/1 (土) 部活動プロジェクト 長崎県立佐世保北中学校軟式野球部来学 本学野球部と練習 2/3 (月)、4 (火) 付：毎日新聞社、西日本新聞社、長崎新聞社 「1/31 (金) 開催、ミズノ株式会社と学校法人九州文化学園との連携協定締結式」について各社掲載 2/4 (火) 佐世保市体育協会 (吉田常務)、佐世保軟式野球連盟 (近藤理事長) 訪問目的：「大学交流戦 (野球部、男女バレーボール部) +体験教室」協力依頼 2/5 (水) 付「教育学術新聞キャンパス万華鏡 テーマ：自然災害からの復興支援の取り組み」全国の大学 10 例の一つとして「長崎国際大学テニス部：大学祭で募金活動」掲載 2/6 (木) ~10 (月)

	<p>九州学生テニス連盟：九州学生室内テニス選手権大会、本学テニス部監督として帯同</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/10（月）強化指定部学生及び体育会学生限定「スタートダッシュセミナー」 主催：キャリアセンター同セミナーは就職活動を円滑する為にセミナーを実施。 ・2/13（木）「令和元年度 地域と大学等の連携推進会議：主催長崎県企画振興部政策企画課」参加 長崎県内大学、及び市町企画課担当事務が参加した同会議にて、本事業の説明を行い、スポーツ分野における「産学官連携事業」の必要性を訴えた。 ・2/15（土）「大学部活動インターンシップ」対象：中学生 部活動体験＋スポーツセミナー（大塚製薬㈱） ・2/17（月）トレーニング講習会 場所：本学体育館 講師：小田氏（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、所属 TORQUE） ・2/17（月）全学教育会議 同会議は、本学学科長以上、並びに外部評価委員出席。 同会議にて、本事業の報告、並びに意見聴取・外部評価を依頼。 ・2/18（火）第16回トップアスリートから学ぶ テーマ：夢や目標について語り合いましょう！そして、スポーツの未来を考えましょう！ 講師：岡本達也（元Jリーガー） ・2/19（水）【学内会議】第7回スポーツ醸成&スポーツサポートセンター設立協議会 ・2/20（木）～21（金）Being 研修 主催：キャリアセンター 同研修はリーダー養成講座として実施し、スポーツ系学生 29 人参加。 ・2/22（土）大学交流戦：野球部（長崎国際大学 vs 東京大学）＋体験教室 場所：佐世保野球場 ・2/22（土）～23（日）「ハイパフォーマンスカンファレンスゴルフ 2020 主催：公益財団法人日本ゴルフ協会」 同講習会に本学ゴルフ監督が参加予定。 ⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：中止 ・2/24（月・祝）部活動プロジェクト 長崎県立佐世保北中学校男子硬式テニス部来学 本学男子テニス部と練習 ・2/25（火）トレーニング講習会 場所：東部スポーツ広場体育館メインアリーナ 講師：小田氏（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、所属 TORQUE） ・2/27（木）スポーツ系 OB・OG とスポーツ系現役学生とのジョイントワークショップ 場所：長崎国際大学 2203 教室 ・2/28（金）川棚中学校⇒大野中学校⇒九州文化学園高等学校 訪問 訪問目的：2/22,29「大学交流戦＋体験教室」御礼及び情報交換 ・2/29（土）大学交流戦：男女バレーボール部（長崎国際大学 vs 志学館大学） 場所：本学体育館 ⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：中止
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・2月下旬～3月初旬開催予定：「学童&スポーツプロジェクト」 ⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：延期 ・3月中開催予定：令和元年度スポーツプロジェクト推進協議会 ⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：中止

(2) 事業の実績の説明

【スポーツプロモーション事業（以下、SP 事業）】

(SP 事業①) 指導者育成事業、指導者招聘事業、指導者研修事業

○10/30（水）第15回トップアスリートから学ぶ チラシ「20191030」

テーマ：体格が劣る日本人が世界と戦う為に必要なもの

講師：コカ・コーラレッドスパークス 向井昭吾監督（ラグビー元日本代表監督）

参加者：学生 137 人、一般 23 人、教職員 5 人 計 165 人



12/8 (土) 「パラリンピアンと考える障がい者スポーツ」講演会 チラシ「20191208」
 講演者：古城 暁博氏 (2000年シドニー五輪 陸上競技 100m (T42) 8位入賞)
 参加者：学生 50人、教職員 3人 計 53人



2/18 (火) 第16回トップアスリートから学ぶ
 テーマ：夢や目標について語り合ひましょう！そして、スポーツの未来を考えましょう！
 講師：岡本達也 (元Jリーガー)
 参加者：学生 55人、教職員 1人 計 56人

○11/21 (木)、22 (金) 【学内】指導者講習会
 学内指導者に対する本事業、及び UNIVAS の状況について説明

【参加者】

11/21 (木)

今村教授 (男子空手道部顧問、女子空手部監督、男女ソフトテニス部顧問、男女バドミントン部顧問)、勝本 (ソフトテニス部監督)、荒巻 (ゴルフ部監督)、桑江 (男女アーチェリー部外部コーチ)、坂本 (男子バレーボール部監督兼女子バレーボール部部长)、徳吉 (男女テニス部監督) 計 14 競技・6人

11/22 (金)

宮良准教授 (女子バレーボール部監督)、小田 (女子空手道部顧問)、的野 (野球部監督)、石橋 (野球部コーチ)、尾下 (男子バレーボール部コーチ)、宮本 (駅伝部顧問)、坂本 (男子バレーボール部監督兼女子バレーボール部部长)、徳吉 (男女テニス部監督) 計 7 競技・8人

講習会次第

- ① 大学スポーツの振興に関する動向
- ② 「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」について
- ③ 「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」指導者セミナーについて
 UNIVAS の理念と事業、危機管理、コーチング哲学、デュアルキャリア支援

④2019年度スポーツ庁公募「大学スポーツ振興の推進事業」採択事業について

現在の進捗状況、事業計画書、表彰制度

⑤長崎県3競技（テニス、バレーボール、野球）中学校、高校登録人数について（表2）

⑥質疑応答

本学の主な強化指定部、体育会の部活動の指導者に対し、「講習会次第」のとおり説明、及び意見交換を行った。この講習会では、UNIVASの概況、及び指導者セミナーについて説明、さらに本学が採択された事業計画について説明を行った。

○12/8（日）～9（月）「2019公認指導者講師競技別<テニス>全国研修会」場所：味の素 NTC

同講習会には本学テニス部監督が参加。同講習会により、競技力向上の観点から学生指導は勿論のこと、「SA①1 地域貢献事業（園児、生徒：体育授業、部活動サポート事業）」における学生指導、さらに「SP⑤-1 小学校・中学校部活動プロジェクト事業」では部員とともに同プロジェクトに参加する小学生・中学生への指導にいかした。また日本最西端の大学において、有益な指導知識を得たことについては非常に有意義な講習会であった。

○1/11（土）スポーツセミナー 大塚製薬(株)×ミズノ(株)×長崎国際大学コラボ企画

【第1部】大塚製薬(株) 講師：福岡支店ソーシャルヘルス・リレーション 森岡 剛氏
スポーツセミナー テーマ：スポーツにおける「水分補給と栄養の大切さ」

【第2部】ミズノ(株) 「プレイリーダー講習会（3級）」

講師：ミズノ(株) スポーツプログラムプロフェッサー 笹倉 慎吾氏
スポーツ営業本部 芦田 浩氏、西川 耕治氏

【第1部】



【第2部】



【第1部 参加申込】

参加者 54 人（学外者 5 人含む）、学内指導者（テニス部、野球部）2 人 計 56 人

【第2部 参加申込】

参加者 30 人、学内指導者（テニス部、野球部）2 人 計 32 人 3 級取得者：31 人
※チラシ「20200111【スポーツセミナー】チラシ1、2」

「スポーツセミナー」については、本学が属する法人と連携協定を締結した「大塚製薬株」が講師1人、「ミズノ株」が講師3人派遣し、実施した。「ミズノ株」としては、大学レベルで同様な講習会を実施したのは初。また同セミナーには本学近隣の短大生2人やスポーツクラブからの従事者も申込があった。

同セミナーの主旨として、学生自身は本学で実施している「チャレンジスポーツ」、「キッズキャンパス」さらに「体験教室」等、地域子ども達とスポーツを通して接する機会が多くあるが、今後学内だけでなく、学外において「指導者」として「指導の質の保証」という視点で、「第1部」はテーマ「スポーツにおける『水分補給と栄養の大切さ』」を大塚製薬株の専門家による受講し、「第2部」は子ども達に運動遊びを指導するために必要な任意資格である「プレイリーダー講習会（3級）」の講習会を実施し、受講後は3級の資格を取得したことで、経験則のみで地域子ども達を指導するのではなく、「一人の指導者」として育成することに目的がある。

なお、同資格取得した学生は、「SA事業⑧：学童&スポーツプロジェクト」の2月下旬～3月上旬にかけて実施に向けて、九州文化学園小学校・中学校校長と打ち合わせを行っていたが、「新型コロナウイルス感染症対策」により今回は「自粛：延期」とし、次の機会を模索中。

アンケート結果 回答数 50 人：

- ・講習会満足度 5段階中 4.48
- ・UNIVAS 知らない 37 人（74%） 知っている 13 人（26%） 不明 1 人
- ・大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性
必要 42 人（84%） 少し必要 3 人（6%） 分からない 3 人 必要ない 0 人 不明 3 人
- ・本学スポーツ庁採択事業の認知度
知っている 9 人（18%） 知らない 30 人（60%） 不明 13 人

○2/17（月）トレーニング講習会 場所：本学体育館

講師：小田氏（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、所属 TORQUE）

テーマ：パフォーマンス向上・最大限発揮するためのコンディショニングとトレーニング



講習会内容：チラシ（20200217and0225）

【実技・講習1】10：00～12：00 ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチ

【実技・講習 2】 13:00～16:00 トレーニング

参加者：学生 19 人（テニス部、ソフトテニス部）、指導者 2 人（テニス部、ソフトテニス部）

購入したトレーニング備品を使用しながら、主に午前中は「ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチ」、午後は体幹を中心とした「トレーニング」のメニューを行った。

- 「1回目」9/16（月）～17（火）Being 研修、コーチング研修 主催：キャリアセンター
同研修は「リーダー養成講座」として実施し、スポーツ系学生 22 人参加。

参加者：ソフトテニス部 9 人、野球部 8 人、テニス部 5 人 計 3 競技・22 人

- 「2回目」2/20（木）～21（金）Being 研修、コーチング研修 主催：キャリアセンター

参加者：アーチェリー部 12 人、男子バレーボール部 5 人、テニス部 6 人、ソフトテニス部 6 人 計 4 競技・29 人

同研修は、「どんな成果を創るか (Having)」、「何をするか (Doing)」、さらにまずは「どうあるか (Being)」を明確にすることが大切であり、この研修を通して様々なワークを通して、自らの Being を見つめ直す研修、さらに「コーチング研修」では学生の「能力」を高め、「意欲」を引き出すためには、どのようなコミュニケーションが効果的かをこの研修を通して、自立度向上を図る「教育コーチング」の考え方と基本技術を習得する研修。

- 2/22（土）～23（日）

「ハイパフォーマンスカンファレンスゴルフ 2020 主催：公益財団法人日本ゴルフ協会」
同講習会に本学ゴルフ監督が参加予定。

⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：中止

- 2/25（火）トレーニング講習会 場所：東部スポーツ広場体育館メインアリーナ

講師：小田氏（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、所属 TORQUE)

アシスタント講師：永間大将



講習会内容：チラシ（20200217and0225）

【実技・講習 1】 10:00～12:00 ウォーミングアップ、クールダウン、ストレッチ

【実技・講習 2】 13:00～16:00 トレーニング

参加者：学生 139 人（男女テニス部、ソフトテニス部、男女空手道部、野球部、ゴルフ部、男女アーチェリー部、男女バレーボール部）、指導者 6 人（男女テニス部、男女空手道部、ゴルフ部、アーチェリー部）

当日は、午前中が学内の教室にて講義と実技、午後は外部体育館にて実技を中心に行った。

資料配布：

- ・講義資料：午前中の講義資料、2/22・29 大学交流戦チラシ、本事業に関する資料

アンケート結果 回答数 116 人：

- ・ 講習会満足度 5 段階中 4.24
- ・ UNIVAS 知らない 93 人 (80.2%) 知っている 21 人 (18.1%) 未記入 2 人
- ・ 大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性
必要 79 人 (68.1%) 少し必要 10 人 (8.6%) 分からない 19 人 (16.4%)
必要ない 2 人 (1.7%) 未記入 6 人
- ・ 本学スポーツ庁採択事業の認知度
知っている 25 人 (20.7%) 知らない 82 人 (67.8%) 不明 9 人

講師の小田氏から学生へのメッセージとして

「講習会、おつかれさまでした。参加者の学生に対しては難しい話しや理解しづらい話もあったと思います。今回の講習会ではまずは基礎的にやって欲しい動作を中心にお伝えしましたので、自分達の競技に関係ないのでは？と思わず、自分たちなりに咀嚼して日頃のトレーニングに活かして欲しいと思います。学生の皆さん、ある競技の競技者である前に皆さんは一人の学生、及びスポーツ選手、また学生アスリートであることを忘れずにがんばってください。今後の競技生活に対し、今後も皆さまの一助になれば幸いです。ありがとうございました。」

とあたたかくも叱咤激励のメッセージをいただきました。

(SP 事業②) ブランディング、及び収益事業

○2/22 (土) 大学交流戦：野球部 (長崎国際大学 vs 東京大学) + 体験教室 場所：佐世保野球場





広報活動及び実績

2/15（土）「大学部活動インターンシップ」+スポーツセミナー（大塚製薬株）

2/22（土）、29（土）「大学交流戦+体験教室（小学生・中学生）」

【目標】 2/15（土）参加者 100 人

2/22（土）観客数+体験教室 2,000 人、2/29（土）観客数+体験教室 2,000 人

【広報戦略：経費をかけない手法】 チラシ（20200215and0222and0229 1、2）

- ・ 佐世保市内全中学校 26 校生徒数 6,180 人
※佐世保市教育委員会教育庁協力（公文書：元スポ振第 683 号）
- ・ 佐世保市教育委員会学校保健課、スポーツ振興課協力依頼
- ・ 佐世保市体育協会協力依頼、佐世保軟式野球連盟協力依頼
- ・ 長崎新聞タブロイド版“NR”2 月号 長崎県内 23 万部 information(無料掲載)
- ・ 「NIU キッズキャンパス：313 人」、「公開講座受講者 688 人」参加促進ハガキ
- ・ 長崎国際大学 全学生・全教職員マナバシステムにて周知
- ・ 本事業参加者にチラシ配布

【実績】

- ・ 2/15（土）中学生 21 人 対象部活動：野球部 24 人、教職員 1 人

結果的には、1 競技（野球部）、2 中学校、中学生参加者 21 人だったが、参加者である中学生、保護者、指導者は非常に感激しながらの企画だった。また中学校の指導者と大学の指導者との情報交換が非常に良かったと感じた。

- ・ 2/22（土）観客数 310 人（朝、降雨の為、体験教室中止 予約 36 人）

本学野球部 28 人、東京大学野球部 22 人、教職員 2 人、運営スタッフ 14 人

2/29（土）自粛：中止（体験教室 予約 72 人）

実績は以上のとおりだが、行政、競技団体は非常に協力だった。「次も必ず、企画してください。」という声が多かった。まだまだ「試合を観る」という意識、さらに中学校は顧問の先生の影響がかなりあることが分かった。これら、同様な企画を実施する場合は、中体連等の大会日程、及び早めの周知活動が必要不可欠。企画した学生も、「部活動インターンシップ」、「体験教室」による地域スポーツ振興活動、「他大学との交流戦」については、観客が居る中での対外試合については非常にモチベーションが上がる企画であったとのこと。

○2/29 (土) 大学交流戦：男女バレーボール部 (長崎国際大学 vs 志學館大学)

場所：本学体育館

⇒本学危機管理委員会による本学方針「新型コロナウイルス感染症」対策により自粛：中止

○NIU スポーツロゴ作成、ロゴ入り T シャツ作製、大学名入りポロシャツ作製

本学では、「部活動」、「大学スポーツ振興活動」、「地域スポーツ振興活動」を行う際、スポーツ醸成を目的とした「T シャツ、ポロシャツ」を作製し、学生・教職員が着用し、本学の「ブランド向上」、学生においてはスポーツを通じた「愛校心」の醸成に努めた。

・NIUS (NIU スポーツの略称) ロゴデザインの検討

NIUS の周知を目的として、NIUS のロゴを作成した。なお、完成までの流れを以下に示す。

NIUS のロゴの完成までの流れ

時期	内容
9 月	<ul style="list-style-type: none">・学生および教職員からのロゴ案を募り、その中から NIUS のロゴを採用することを決定。・応募要項を作成・部活動代表者会議にて、NIUS の概要について説明した上で、ロゴ案を募集することを周知
10 月	<ul style="list-style-type: none">・マナバに「NIUS」のコースを作成・マナバ(「NIUS」および「大学からのお知らせ」の 2 つのコース)において、NIUS の概要を記載した上で、ロゴ案の募集について掲載・大学 HP のニュースでも、NIUS の概要について説明した上で、ロゴ案の募集について掲載・応募数が少なかったため、応募期間を延長
11 月	<ul style="list-style-type: none">・募集終了 (58 件の応募)・委員の投票により 5 件を選定 (一次予選)
12 月	<ul style="list-style-type: none">・掲示板を大学内主要 5 箇所に設置し (図 A)、学生および教職員による投票を開始 (2 次予選)・5 件の中で最も投票数が多かったロゴ案を最優秀賞とし、NIUS のロゴとして採用することを決定。なお、残りの 4 件は優秀賞とする
2 月	<ul style="list-style-type: none">・採用したロゴ案をもとにロゴデザインを作成・NIUS の T シャツを作成 (図 B)
4 月	学生会主催の報告会において、ロゴの周知を行うと共に発案者の表彰を行う。



図 A. 投票用掲示板

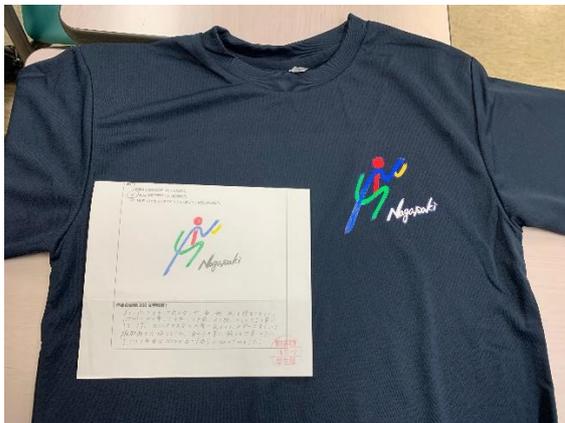


図 B. NIUS の T シャツ

まとめ

今後、ロゴを学生に周知し、各部活動のユニホームやチームポロシャツ、各種用具などに使用してもらう。一方、今年度、予定していた、エンブレムおよびマスコットキャラクターの決定については、今後、スポーツ担当部局にて引き続き検討する。

また今回作製した「NIUS ロゴ入り T シャツ」については、2/22 (土)、2/29 (土)「大学交流戦 (野球部、男女バレーボール部) + 体験教室」に着用し、スポーツ醸成に努めた。

・大学名入りポロシャツ

スポーツにおける「ブランド向上」を目指し、11/30 (土)「NIU キッズキャンパス」、12/8 (土) スポーツフェスタでは運営、企画、さらに指導を担当する学生、さらに「部活動プロジェクト事業」においても指導を担当する学生が着用するために、「大学名入りポロシャツ」を作製した。

なお、メーカー選択については、本学強化指定部 12 団体の内、7 団体が着用している「MIZUNO : 美津濃株式会社」に決めて作製した。また、同社とは 6 月から協定締結に向けて交渉し、1/31 (金) に本学が属する法人「学校法人九州文化学園」と連携協定締結式を行った。



MIZUNO × NIUSPORTS
ポロシャツ



1/31 (金) ミズノ(株)・学校法人九州文化学園



連携協定締結式



(SP 事業③) トップ選手育成事業 通称：学チャレ 20～トップ選手育成事業～
次年度「大学 20 周年」に向け、競技力向上を目的とした学生サポート事業。

(SP 事業④) サポート事業：スポーツ振興、スポーツツーリズム、スポーツ系ボランティア活動に関する事業 通称：学チャレ 20～サポート事業～

「大学スポーツの振興」を目的とした活動（スポーツ振興、スポーツツーリズム、スポーツ系ボランティア）に関するサポート事業。

○「SP 事業③、④」については、学生からのエントリーなし。

【課題：「SP 事業③、④」については、学生及び各競技団体からのエントリーなし】

これら 2 事業における「エントリーなし」の課題については、学生、指導者に対しては

- ・【学生団体】10/21 (月) 「学生会主催：部代表者会議」にて周知
- ・【指導者】11/21 (木)、22 (金) 「指導者講習会」にて周知
- ・本学 HP 内、「NIU スポーツ」にて周知

を行ったが、エントリー並びに活用実績には至らなかった。まだまだ、競技力向上、学生アスリート醸成について、検討し、今後はさらに積極的に周知していきたい。

「SP 事業④」については、テニス部において「大学祭における模擬店出店による義援金活動」として相談があったが、エントリーには至らなかった。結果的に、今回で 8 回目となる同活動については、「教育学術新聞 2/5 付：キャンパス万華鏡 テーマ：自然災害からの復興支援の取り組み」に全国の大学 10 例の一つとして掲載された。今後は、同様な活動を他の部活動にも呼び掛けていきたい。

(SP 事業⑤) 小学校・中学校部活動強化プロジェクト事業

日頃の練習環境が悪く、又は指導者に恵まれていない小学校・中学校の部活動に対し、本学のスポーツ施設を提供する、または出張し、小学校・中学校の部活動のサポートを実施する事業。

○2/1 (土) 部活動プロジェクト【野球部】

長崎県立佐世保北中学校軟式野球部来学、本学野球部と練習



同事業では、長崎県立佐世保北中学校の軟式野球部が来学し、本学の野球部と練習を行った。

同部は、中高一貫高であるため、中学校と高校の部活動の全てが同校のグラウンドで練習しており、普段から平日は3日間の練習（ほぼ内野スペースのみ）、週末は他校との大会参加・練習試合と練習環境としては劣悪な環境のため、プロジェクト型として実施。

当日は、普段から通常の野球練習場として練習していない状況の中で、生徒14人、保護者6人、指導者2人とも、感激しながら練習を行っており、また本学の野球部員（学生20人、指導者4人）も2/1と言えば“球春到来”というスケジュールの中で、積極的にサポートしてくれて非常に良い雰囲気であった。

本学の部員自身も「初めての中学生への指導。指導しながらも自分たちも子どもたちの模範となる学生アスリート、スポーツの分野における“伝道師”として頑張る練習をします。」とのこと。

○2/24 (月・祝) 部活動プロジェクト【テニス】

長崎県立佐世保北中学校男子硬式テニス部来学、本学男子テニス部と練習

同事業では、長崎県立佐世保北中学校の男子テニス部が来学し、本学男子テニス部（学生11人、指導者1人）と練習を行った。同部は、同校の軟式野球部同様、中高一貫校のため、普段から3面のコートで中学・高校のソフトテニス部、硬式テニス部が練習しており、劣悪な環境のため、プロジェクト型として実施。

当日は、本学の人工芝砂入りコートで、生徒13人、指導者1人、保護者7人が感激しながら練習を行い、本学の学生もポロシャツ（ミズノ×NIUSPORTS）を着用し、積極的に指導していた。



【課題：SP事業⑤「小学校・中学校部活動強化プロジェクト事業」について】

今回、同事業（「大学部活動インターンシップ」含）を実施する上で、佐世保市教育委員会、長崎県教育委員会の学校保健課に協力要請から行い、次に学校選択（クラブ選択）、選択された学校への交渉、関係諸団体（佐世保市体育協会、佐世保野球連盟）への協力要請を経て、実施した。

実施後については、関係諸団体をはじめ他の中学校、及び小学校クラブ活動の指導者、保護者からも依頼があり、今後の課題としては開催時期、規模感（対象者）、さらに受け入れ側としては、協力する強化指定部の指導者と部員の更なる協力、さらに学内スポーツ施設については競技力向上の観点だけでなく、「地域スポーツ振興」、「大学スポーツの観戦」の観点から今後、本学への学外者（子ども達を含めた一般市民）の来学が増えることが予想され、本学に対するステークホルダー増を考慮したスポーツ施設の充実についても検討する余地が考えられる。その結果、スポーツの分野においても「地域密着型の大学」による「地域貢献度」が高まることが推察される。

【学生スポーツアドミニストレーター（SA）育成事業（以下、SA事業）】

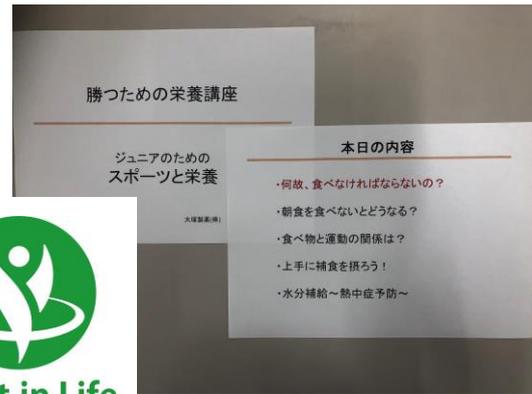
（SA事業①）【SA①-1 地域貢献事業（園児、生徒：体育授業、部活動サポート事業）】

○2/15（土）「大学部活動インターンシップ」部活動体験＋スポーツセミナー（大塚製薬㈱）

対象：中学生



セミナー：テーマ「勝つための栄養講座～ジュニアのためのスポーツと栄養～」



予 定

- 【第1部】 10：00～12：00 大学部活動インターンシップ
12：00～13：00 セミナー 講師：大塚製薬(株) 森岡 剛氏
テーマ「勝つための栄養講座～ジュニアのためのスポーツと栄養～」
- 【第2部】 12：00～13：00 セミナー 講師：大塚製薬(株) 森岡 剛氏
テーマ「勝つための栄養講座～ジュニアのためのスポーツと栄養～」
13：00～15：00 大学部活動インターンシップ
- 【対象部活動：長崎国際大学強化指定部】
男子バレーボール部、野球部、テニス部、ソフトテニス部、ゴルフ部、ダンスサークル

実 績

- 【参加者】長崎県立佐世保北中学校軟式野球部 14 人、佐世保市立宮中学校 7 人
保護者 6 人、指導者 4 人
- 【部活動】野球部 24 人、指導者 4 人、職員 1 人

【課題：SA 事業①地域貢献事業、SP 事業②ブランディング、及び収益事業】

これら 2 事業（地域貢献事業、収益事業）については、学外的には「地域スポーツ振興」における「地域貢献事業」と交流戦への集客活動、学内的には学生のアウトプットによる「学生における育成事業」、及び今後のスポーツ分野における「収益事業」のプロジェクトとして行ったが、企画実施による学生の指導経験増、並びに「地域スポーツ振興の必要性について、さらに参加した中学生は勿論、中学校軟式野球部関係者（指導者、保護者）にとっては非常に良い効果があると思える。また、参加した方々に対する「講義型」の専門家によるスポーツセミナーも同様である。しかしながら、開催日程については学内協力部活動と参加する中学生、及び部活動の日程調整が非常に難題であるが、「地域子ども達に対するスポーツ振興活動」という観点から、教育委員会や関係する諸団体との情報共有等、解決できない課題ではないと感じた。

○【再掲】

2/1（土）部活動プロジェクト【野球】

長崎県立佐世保北中学校軟式野球部来学、本学野球部と練習

2/24（月・祝）部活動プロジェクト【テニス】

長崎県立佐世保北中学校男子硬式テニス部来学本学男子テニス部と練習

(SA 事業②) 【SA②-1 教育プロジェクト事業】

○7/3（水）～6（土）中京大学訪問

訪問目的：7/4 同大学スポーツ振興課との情報交換

7/5 大学スポーツ改革シンポジウム 参加

7/6（交流戦視察）男子バレーボール 中京大学 vs 筑波大学

○12/10（火）筑波大学 AD 局 訪問

訪問目的：同大学との情報交換

出張復命書：【地域連携室】令和元年度復命書（201912 2019 全国研修会⇒筑波大学先進的事例調査）1～4

○12/25（水）鹿屋体育大学スポーツアライアンス室、及び経営戦略室訪問

訪問目的：同大学とのスポーツ支援・振興における情報交換

出張復命書：【地域連携室】令和元年度復命書（191225 鹿屋体育大学視察及び情報交換）

○1/20（月）～26（日）カリフォルニア州アナハイム近郊

3 大学視察及び NCAA コンベンション会議参加

出張復命書：【地域連携室】令和元年度復命書（200120～27NCAA 視察研修 スポーツ庁）

(SA 事業③) SA 研修事業

○【再掲】1/11（土）スポーツセミナー 大塚製薬(株)×ミズノ(株)×長崎国際大学コラボ企画

【第1部】大塚製薬(株)

スポーツセミナー テーマ：スポーツにおける「水分補給と栄養の大切さ」

【第2部】ミズノ(株)

プレイリーダー講習会（3級）

(SA 事業④) 調査事業

○強化指定部 GAP 調査 (協力部局：大学評価・IR 室)

本学強化指定部の過去3年間における累積GPA平均値

	2016年度 累積GPA	2017年度 累積GPA	2018年度 累積GPA	過去3年間の平均	2018年度 部員数
A部	2.75	2.99	2.91	2.88	8
B部	2.42	2.68	2.54	2.55	29
C部	2.45	2.53	2.44	2.47	13
本学国際観光学科 累積GPA平均値	2.44	2.49	2.47	2.47	
本学累積 GPA平均値	2.33	2.35	2.39	2.36	
D部	2.49	2.38	2.14	2.34	118
E部	2.32	2.40	2.26	2.33	21
F部	2.17	2.20	2.26	2.21	40
G部	2.28	2.23	2.03	2.18	10
H部	1.95	2.03	2.22	2.07	14
	2.35	2.43	2.35	2.38	253

※C部の「過去3年間平均累積GPA平均値」は「2.473333...」、「過去3年間本学国際観光学科累積GPA平均値」は「2.466666...」。

本学強化指定部の過去3年間における「学年次」の累積GPA平均値

強化指定部	2016年度 累積GPA	2017年度 累積GPA	2018年度 累積GPA	過去3年間の平均
1 年次	2.36	2.45	2.10	2.30
2 年次		2.32	2.32	2.32
3 年次			2.33	2.33
	2.36	2.39	2.25	

本事業については、本学「大学評価・IR 室」からの情報提供により、「本学強化指定部 (8 競技) の過去 3 年間における累積 GPA 平均値」の調査した結果である。この結果により、以下の点が分かった。

- ・強化指定部 (8 競技) の累積 GPA 平均値 (以下、GPA と表記。) において、「本学国際観光学科累積 GPA : 2.47」と「本学 GPA : 2.33」を上回っている競技は、全体 8 競技 (12 団体) の 3 競技 (5 団体) である。
- ・「C 部」、「D 部」については、本事業において「SA 事業①地域貢献事業、SP 事業②ブランディング、及び収益事業、SP 事業⑤部活動プロジェクト事業」の活動に対し、積極的に協力している競技団体であり、アンケート結果によれば「大学における地域スポーツ振興活動の必要性」については「必要」と回答している部員が多い団体である。

- ・強化指定部の 8 競技中、6 競技が 2017 年度 GPA よりも 2018 年度 GPA が下がっている傾向がある。
- ・強化指定部における「学年次の GPA」については、「1 年次：2.30」⇒「2 年次：2.32」⇒「3 年次：2.33」と上昇経過である。

以上の傾向が分かった。

○各部活動指導者および団体代表者に対する調査（マナバ等）、学生アスリートに対する調査（マナバ）（協力部局：国際観光学科スポーツツーリズムコース 学生アスリート競技力向上支援委員会 背景および目的：本学には、強化指定部 12 団体・運動部 8 団体、体育系サークル 11 団体と多様なスポーツ団体が存在し、各団体には多くの学生アスリートが所属している。本年度は、学生アスリートの競技力向上を図るための基礎データを得るための実態調査を行い、今後のサポートについて検討した。調査対象者は、強化指定部 12 団体・運動部 8 団体、体育系サークル 11 団体に所属する学生（登録部員数 856 名／主登録 797 名）とした。また、指導者もしくは団体代表者に対して、活動内容やニーズの調査も行った。調査の流れについて表 3 に示す。

表 3. 調査の流れ

時期	内容
7 月	・ 調査項目の検討
8 月	倫理審査（国際観光学科研究倫理委員会）への申請
10 月～11 月	・ 各部活動指導者および団体代表者に対する調査（マナバ等） ・ 学生アスリートに対する調査（マナバ）
12 月	調査結果の分析

調査結果：

- ①回答者数および回答率を表 4 に示す。

表 4. 回答者数および回答率

	登録者数（人）	回答者数（人）	回答率
強化指定部	355	150	42.3%
部	116	47	40.5%
サークル	326	54	16.6%
不明		2	
その他 ^(※)		1	
合計	797	254	31.9%

※個人でボウリングを行っているとの回答

②活動日数および活動時間を図4～図7に示す。

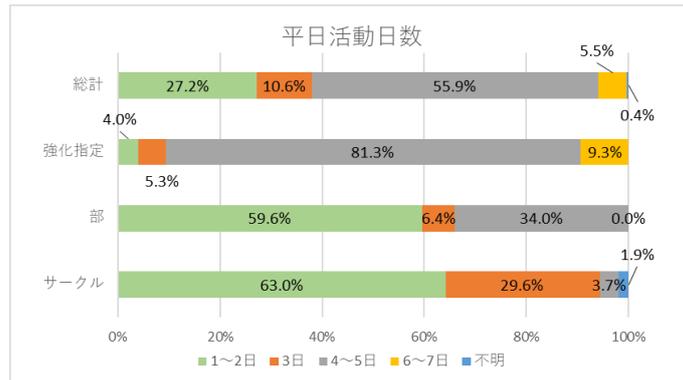


図4. 平日における活動日数

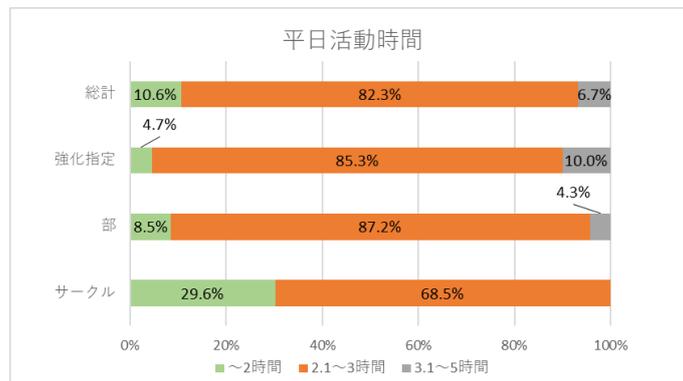


図5. 平日における活動時間

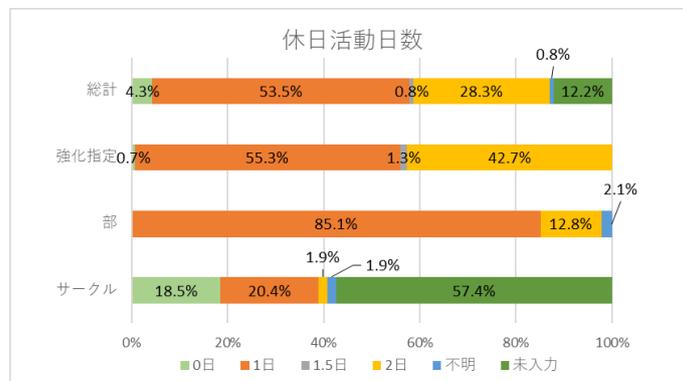


図6. 休日における活動日数

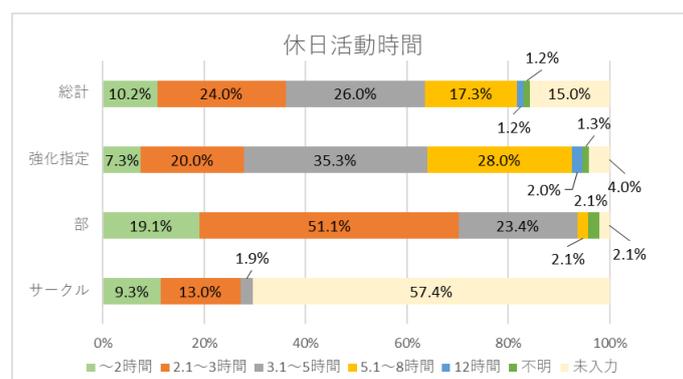


図7. 休日における活動時間

③現在行なっている競技の経験年数を図 8 に示す。

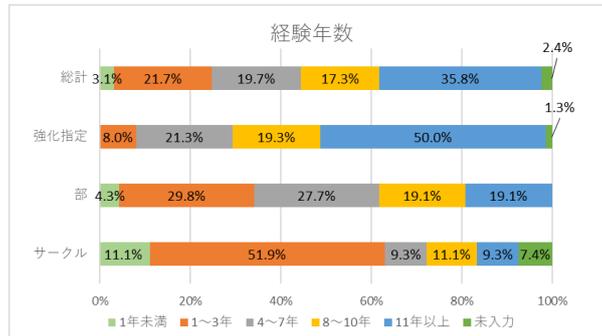


図 8. 経験年数

④競技力向上のために部活動やサークルの活動時間以外において個人で行っている内容について図 9～図 13 に示す。

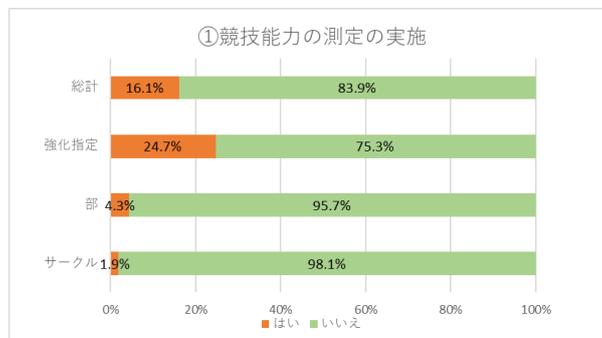


図 9. 個人で行っている内容①（競技能力の測定）

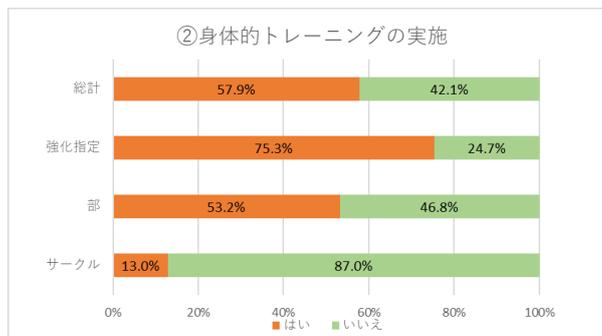


図 10. 個人で行っている内容②（身体的トレーニング）

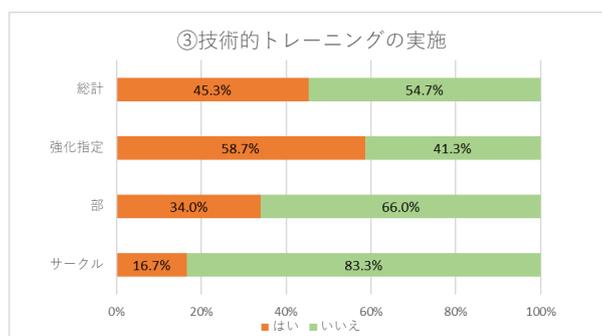


図 11. 個人で行っている内容③（技術的トレーニング）

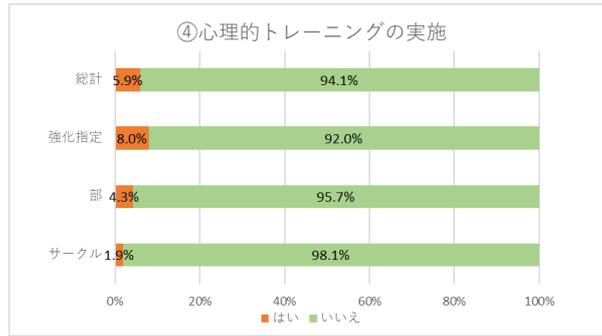


図 12. 個人で行っている内容④（心理的トレーニング）

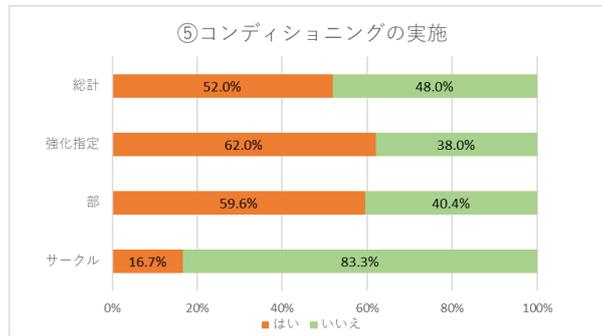


図 13. 個人で行っている内容⑤（コンディショニング）

⑤競技力向上のために、今後、部活動やサークル、個人で取り入れたい内容を図 14 に示す。

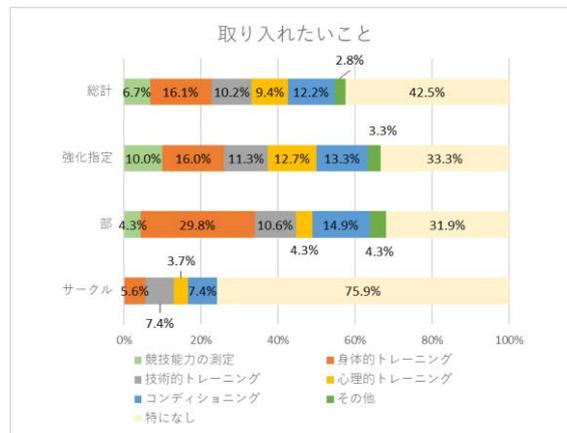


図 14. 競技力向上のために取り入れたい内容

⑥競技力向上のために、知りたい情報について図 15 に示す。

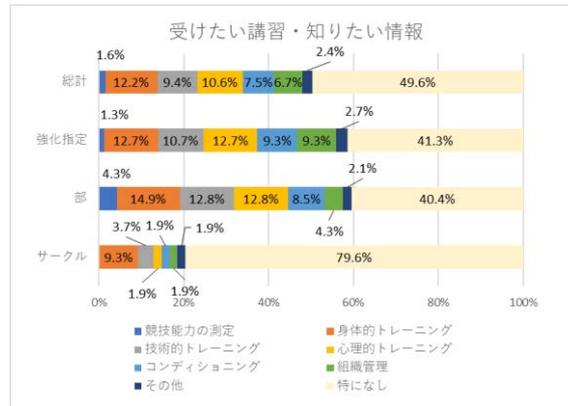


図 15. 競技力向上のために知りたい情報

⑦競技力向上のために大学に望むことの有無を図 16 に示す。

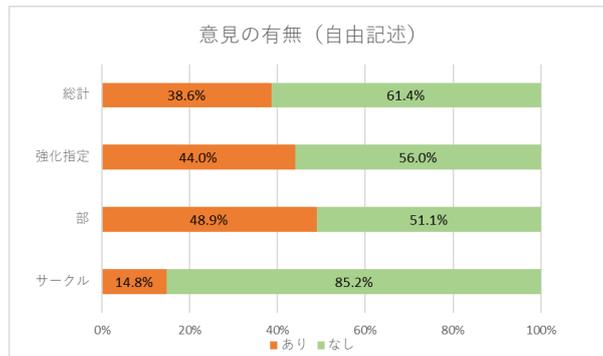


図 16. 競技力向上のために大学に望むことの有無

まとめ

活動日数および時間

活動状況は、強化指定部、部（強化指定部以外）、サークルで異なり、強化指定部は活動日数や休日の活動時間が他の団体に比べ多かった。また、経験年数は、強化指定部、部（強化指定以外）、サークルの順で長かった。

競技力向上のためにやっていること

競技能力向上のために、部活動やサークルの活動時間以外に、個人で行っていること（個人練習）は、強化指定部において実施者が最も多く、その内容としては、身体的トレーニングが最も多く、心理的トレーニングが最も少なかった。部活動に所属する多くの学生が、身体的トレーニングやコンディショニングを重点的に行っていることがわかった。

競技力向上のために取り入れたい内容や受けたい講習

競技能力向上のために、部活動やサークル、個人で取り入れたい内容は様々であった。具体的には、各種トレーニングや測定、練習環境の改善・練習時間の延長などが挙げられた。受けたい講習では、プロ選手等の講話、競技能力向上のためのトレーニングに関する講習等が挙げられた。一方、「特になし」と答えた者は、強化指定部や部（強化指定以外）で約 30～40%、サークルで約 70～80%であった。

総 評：

国際観光学科スポーツツーリズムコースでは、スポーツの専門的な講義に加え、毎年外部の競技者・指導者を招いての講演・体験会などを実施しているが、これまで参加者である学生アスリートのニーズを調査して外部講師を選定してこなかった。今後は、学生アスリートのニーズを踏まえて身体的トレーニングや心理的トレーニング、コンディショニングに関する講演を行うと共に、対象をスポーツツーリズムコース以外の学生アスリートに拡大していくことが求められる。今回の調査において学生アスリートから挙げた、具体的な要望は、スポーツツーリズムコースにおいて毎年実施されている講演・体験会における外部講師の選定に加え、指導者へのフィードバック資料として、大いに役立つことが考えられる。また、これまで開催されることが少なかった、身体的トレーニングや心理的トレーニング、コンディショニングに関する講演を開催する際の参考資料として活用できると考えられる。

大学に望むこと（自由記述）を回答した学生アスリートは、サークルに所属する学生アスリートでは約15%であったが、強化指定部や部（強化指定以外）に所属する学生アスリートでは約45～50%であった。具体的には、各種スポーツ施設の充実などの練習環境の整備や部活の支援・評価規準、部活上の問題などが挙げられた。スポーツ環境に充実に関しては、公共施設の充実に加え、各種部活動が使用している施設に対する要望が多く見られた。特に、現在使用している施設（アーチェリー場・グラウンド・体育館）に対して、その安全性から指摘している回答も多く、また、施設の拡充に関連して部活動の金銭的支援の面から、更には、評価基準の不透明性に関するコメントも挙がっていた。どのような基準で施設を充実させ、そして、支援費が算出されるのかを明らかにしていく必要があると思われる。加えて、指導者に対する意見も多く、指導者と学生のトラブルも散見される。今後、指導者を対象とした講習会を開催し、指導技術のみならず、学生との関係性の構築方法などを学ぶ機会を設ける必要があると思われる。

○強化指定部、及び体育会系運動部員における「地元長崎県就職（又は内定）調査（協力部局：キャリアセンター、学生課）」について

2018年度、2019年度（3/10 現在）の地元長崎県就職（又は内定）調査について

本事業については、本学キャリアセンターの情報提供により、実施した調査結果である。

本学における「強化指定部、体育会運動部による長崎県内就職(内定)状況について

	就職者数 (2019年度:内定者数) ①	長崎県内就職者数 (2019年度:内定者数) ②	強化指定部、 体育会運動部による 長崎県内就職者数 (2019年度:内定者数) ③	長崎県内就職率 (2019年度:内定率) ④(②/①)	強化指定部、 体育会運動部による 長崎県内就職率 (2019年度:内定率) ⑤(③/②)
2018年度 2019年5月1日現在	357	96	15	26.9%	15.6%
2019年度 2020年3月10日現在	396	76	12	19.2%	15.8%

2020（令和2）3月23日現在

2018年度から2019年度にかけて、長崎県内就職率（3/23 現在）については26.9%から19.2%と「7.7ポイント減」であるが、強化指定部、体育会運動部員の長崎県内就職率については、「0.2ポイント増」となっており、若干ですが全体よりは増となっている。

強化指定部、体育会運動部の卒業生は、長崎県内就職については少ない現状が分かった。この現状を踏まえ、スポーツを通して学生と地域子ども達を接する機会をさらに設け、「大学スポーツ振興、地域スポーツ振興」の活性化を行い、地方創生の観点から人材育成に今後も努めたい。

(SA 事業⑤) 【SA⑤-1 表彰事業※賞に関しては予定。】

○【表彰制度：要項、応募申請書 作成済】

以下の表彰制度について要項、応募申請書を作成し、大学 HP 「NIU スポーツ」に掲載。

- ・OB・OG 優秀奨励賞
- ・指導者功労賞
- ・社会貢献活動に関する優秀取組賞
- ・サポータースタッフ・オブ・ザ・イヤー
- ・スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー
- ・パラアスリート・オブ・ザ・イヤー
- ・安全確保に関する優秀取組賞
- ・学業・部活動両立優秀奨励賞
- ・成績管理・対策に関する優秀取組賞
- ・スポーツプロモーションに関する優秀取組賞

※「2019 年度 NIU スポーツアワード」については、以下の HP 参照。

<https://sports.niu.ac.jp/news/wanted/2019/43>

○UNIVAS アワード「スポーツ統括部局／SA 賞」応募済

応募対象の取組名：学生と地域の子どもたちが喜ぶスポーツ振興の取組

応募者：長崎国際大学 地域連携室 室長兼スポーツ・アドミニストレーター 徳吉 剛

「UNIVAS AWARDS 2019-20」

スポーツ統括部局／SA 賞 入賞

取組名：学生と地域の子どもたちが喜ぶスポーツ振興の取り組み

※表彰内容：大学スポーツ振興に関する先進的取り組み事例を表彰する。

(SA 事業⑥) 【SA⑥-1 他大学との交流事業】

○【再掲】

- ・2/22 (土) 大学交流戦：野球部 (長崎国際大学 vs 東京大学) + 体験教室 場所：佐世保野球場
- ・2/29 (土) 大学交流戦：男女バレーボール部 (長崎国際大学 vs 志學館大学) 場所：本学体育館

(SA 事業⑦) 学生アスリートキャリア支援事業・修学支援事業

○2/10 (月) 強化指定部学生及び体育会学生限定「スタートダッシュセミナー」

主催：キャリアセンター

同セミナーは就職活動を円滑に活動するためのアドバイスを実施したセミナーである。

参加者：8 団体・45 人

空手道部 1 人、駅伝部 2 人、ゴルフ部 2 人、ソフトテニス部 3 人

女子バレーボール部 7 人、男子バレーボール部 8 人、アーチェリー部 8 人

参加率：就職活動該当年次 (3 年生) 99 人、参加者数 45 人 参加率：45.5%

○2/27 (木) スポーツ系 OB・OG とスポーツ系現役学生とのジョイントワークショップ

場所：長崎国際大学 2203 教室 チラシ：「20200227 【要項】ジョイントワークショップ」

参加者：スポーツ系 OB・OG 3 人、テニス部 13 人

ワークショップ内容：

- ① グルーピング
- ② 自己紹介

③進行：スポーツ系 OB・OG タイムキーパー：()

テーマ：競技力向上、ゼミ生活、キャリア教育、就職活動、資格取得等の自己啓発活動、ボランティア活動他

④ワークショップ (1テーマ)

3分：説明 3分：付箋タイム 5分：意見交換 2分：まとめ 2分：発表 2分：レスト

⑤発表：感想

⑥お願い：感想については、地域連携室代表メール：renkei@niu.ac.jp に 3/3 (火) まで



※このワークショップについては、本来であれば OB・OG については、学外者を予定していたが、昨今の「新型コロナウイルス感染症対策」により、今回は「自粛：縮小」にて実施したため、「スポーツ系 OB・OG」の 3 人については、キャリアセンター勤務経験のあるテニス部監督、テニス部 OG であり、本学の国際交流・留学生支援室勤務である職員、及び現 4 年生で県内企業に内定した元男子テニス部主将にて実施した。

○【再掲】

- ・【1回目】9/16 (月) ~17 (火) Being 研修 主催：キャリアセンター
同研修はリーダー養成講座として実施し、スポーツ系学生 22 名参加。
- ・【2回目】2/20 (木) ~21 (金) Being 研修 主催：キャリアセンター
同研修はリーダー養成講座として実施し、スポーツ系学生 29 名参加。

(SA 事業⑧) 【SA⑧-1 学童&スポーツプロジェクト事業】

○同プロジェクトについては、1/11 (土) 開催「スポーツセミナー」におけるミズノ㈱「プレイリーダー3級」取得者の学生 2 人と 2 月下旬~3 月上旬にかけて実施に向けて、九州文化学園小学校・中学校校長と打ち合わせを行っていたが、「新型コロナウイルス感染症対策」により今回は「自粛：延期」とし、次の機会を模索中。

(3) 事業実施におけるアンケートについて

アンケート内容：共通質問について…資料「アンケート 共通質問 1～3」

主な質問事項：

「UNIVAS 認知度」、「大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性」について

【調査結果】「UNIVAS認知度」、及び「大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性」について

			UNIVAS認知度			「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」の必要性				
			知っている	知らない	未記入	必要	少し必要	必要ない	分からない	未記入
全体	回答数	人数	21	93	2	79	10	2	19	6
	116	%	18.1%	80.2%	1.7%	68.1%	8.6%	1.7%	16.4%	5.2%
テニス部	回答数	人数	2	9	0	10	1	0	0	0
	11	%	18.2%	81.8%		90.9%	9.1%			
野球部	回答数	人数	6	39	1	25	5	0	11	5
	46	%	13.0%	84.8%	2.2%	54.3%	10.9%		23.9%	10.9%

事業実施におけるアンケート（学生）では、各イベントの満足度（5段階）については

1/11（土）「スポーツセミナー」回答数 50 人 満足度：4.48

2/17（月）、25（火）「トレーニング講習会」回答数 116 人 満足度：4.24

アンケートで特に聞きたい質問項目は、「UNIVAS 認知度」、「大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性」だった。

結果（トレーニング講習会実施時のアンケート）は、

UNIVAS 認知度：「知っている 18.1%」「知らない 80.2%」

大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性：

「必要 68.1%」「少し必要 8.6%」「必要ない 1.7%」「分からない 16.4%」

だった。

また、特に本事業に積極的に活動した「テニス部」、「野球部」は

【テニス部】

UNIVAS 認知度：「知っている 18.2%」「知らない 81.8%」

大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性：

「必要 90.9%」+「少し必要 9.1%」⇒100%

【野球部】

UNIVAS 認知度：「知っている 13.0%」「知らない 84.8%」

大学スポーツ振興、地域スポーツ振興の必要性：

「必要 54.3%」+「少し必要 10.9%」⇒65.2%

これらのアンケート結果から、教職員と学生の「教職員・学生協働企画」により実施した「大学スポーツ振興、地域スポーツ振興」を主とした本事業の活動については、「学生のために、地域の子どもたちため」必要不可欠であることが分かり、特に「スポーツ振興活動」を積極的に行った部活動（野球部、テニス部）については、「地域スポーツ振興の必要性」については高い傾向であることがわかった。

また、前述した「大学交流戦+体験教室」を含めた「地域スポーツ振興活動」は、本学においても「ステークホルダー」増になり、また今後の入学増にもつながることが予想される。

次に参加者アンケートですが、【アンケート内容：資料「参加者アンケート」】

事業実施におけるアンケート（中学生：12人、保護者：14人、指導者：2人）では、各イベントの満足度（5段階）については

2/1（土）「部活動プロジェクト」回答数 28人 満足度：4.8

2/15（土）「部活動インターンシップ」回答数 28人 満足度：4.68

「部活動プロジェクト」、「部活動インターンシップ」で平均の満足度は「4.74」。

【内訳】

2/1（土）「部活動プロジェクト」回答数 28人

「中学生」満足度：「5」11人、「4」1人

「保護者、指導者」満足度：「5」9人、「4」4人、「未記入」3人

2/15（土）「部活動インターンシップ」回答数 28人

「中学生」満足度：「5」9人、「4」2人、「未記入」1人

「保護者、指導者」満足度：「5」8人、「4」6人、「未記入」2人

これら2企画の中で、中学生が大学生と一緒に練習する事自体の満足度は高いことは分かったが、特徴的な意見として、2/15に開催した「大学部活動インターンシップ：体験教室＋スポーツセミナー」の際に行った大塚製薬㈱の専門家による

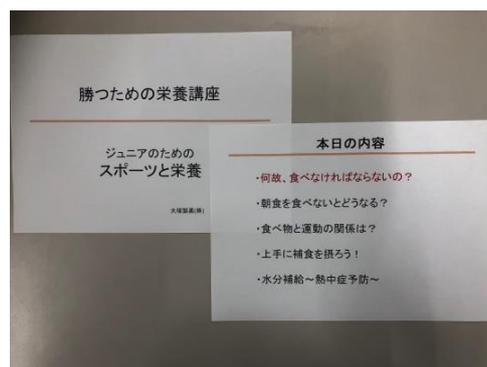
セミナー：テーマ「勝つための栄養講座～ジュニアのためのスポーツと栄養～」

である。2/15のアンケートにおいて回答数28人の内、15人（53.6%）がこのセミナーについて、以下のような好印象な回答※を得た。

※中学生7人（58.3%）/12人 保護者8人/14人（57.1%） 計15人（53.6%）/28人

「中学生」

- ・食事と睡眠の大切さが分かった
- ・スポーツをする上での食、睡眠の重要性を学ぶことができ良かった。
- ・自分のからだを作っている食べ物の大切さを教えてもらったり、熱中症予防についても教えてもらったから
- ・朝食の大事さが分かり、出された食事は残さず食べようと思いました。
- ・成長や健康などについて知ることが出来てよかった

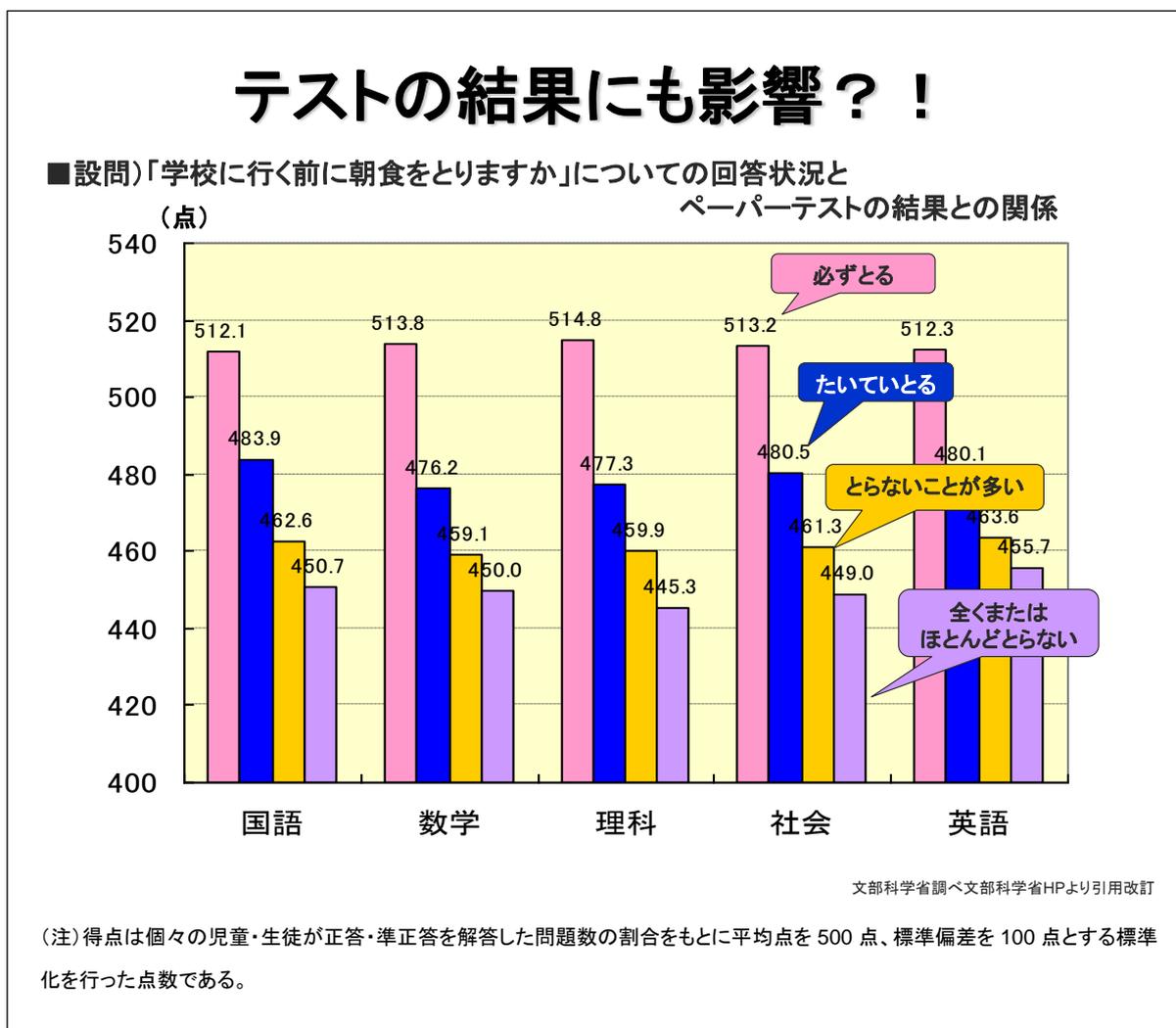


「保護者」

- ・セミナーでは成長期における食事、栄養面、さらに睡眠も重要であることがわかった。やはり、子ども達も食べるだけでなく食育の機会を作ってもらえてよかったから
- ・セミナーはスポーツをする上での栄養や睡眠の大切さを再認識しました。沢山の保護者に参加していただきたい企画だと思います。
- ・頂いた資料はとても参考になりました。

- ・中学生になってから、時間的な制約があり朝食をおろそかにすることがあったのですが、意識して食べるようになりました
- ・栄養学についての指導は、食べることの大切さ食事に対しての意識が変わりました

これらの回答における影響があった資料は、当日の資料の 11 ページの以下の



資料かと思われる。

また、「参加者アンケート」では、本学が今後の「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」を考える上で、興味深い質問として

7. 大学がスポーツの分野において、交流戦等の「大学スポーツ振興」や体験教室等の「地域スポーツ振興」について活動することに対し、どのように感じますか？

この質問の回答については、中学生、保護者、指導者も含め、回答数 29 人に対し、「必要：23 人」、「少し必要：1 人」、「分からない：3 人」、「未記入：2 人」。

その理由としては、

「中学生」

- ・必要：地元の大学と地元の子供達とのスポーツを通しての交流は、とても大事だと思います。

- ・分からない：考えたことがない
- ・必要：たくさんの人にスポーツの楽しさを分かってもらえると思うから
- ・必要：自分の学校の外の人たちと一緒に活動することで、もっとレベルアップできると思うから
- ・必要：スポーツを続けていくよい機会となると思うから
- ・必要：地域の子供たちと関わり、そこから学ぶスポーツの素晴らしさ、おもしろさがあると思うから。
- ・必要：指導者が学校の仕事が忙しくて、なかなかゆつくりと聞きたいことを聞けないことが多いので、今回は聞ききたいことを大学生には聞くことが出来たり、実際にプレーしていることを間近で見ることが出来るから
- ・必要：スポーツをするきっかけにもなると思うので
- ・少し必要：地域の絆を深めることが出来るから
- ・少し必要：野球のレベルをもっと上げたほうがいいと思うから

「保護者」

- ・必要：日本の最西端、また子ども達が属している学校の練習環境が悪い中、佐世保北中だけでなく、他の中学校と一緒に、他の競技も同様、大学、行政、企業も交えて、地域の子供達に対して、サポートをお願いしたい。
- ・必要：スポーツを頑張っている大学生の姿を是非、子ども達に観て欲しいし、また大学の指導者、さらに長崎国際大学はミズノとも提携したと聞いています。もっとも地域に還元していくと、大学のブランドも上がると思いますので。
- ・必要：スポーツをする機会が増えることはよいことだと思うから
- ・必要：異年齢との交流を通してお互いに気づきや学びがあると思うから。
- ・必要：子供達も楽しそうにしていましたし、定期的に続けて頂けるとありがたいです。
- ・必要：スポーツをする機会をこれからも増やしてほしいです。
- ・必要：スポーツを通じての体力づくりや仲間が出来ることは大切だと思う。また、イベントを通じて地域の交流も出来ると思う。
- ・必要：年齢差はありますが、この2回だけの企画参加で子供達の目の輝きは違っていました。お忙しい中、企画から準備ありがとうございました。
- ・必要：大学生・中学生共に学ぶことが多くあると思うので必要だと思います
- ・必要：中学生となるとなかなか親の言う事を聞かなくなりますが、大学生のお兄さん方が、身をもってプレーを見せてくださったり、指導してくださることは、スッと入ってくるようです。親としては非常にありがたいと感じています。

「指導者」

- ・必要：大学生が地域スポーツの振興の一貫として、野球教室等を実施することで、夢やあこがれを持つことができ、中学生や高校生の部活動の活性化につながるため
- ・必要：現在はまた地域と大学のつながりが希薄なので、そのような活動によって、互いにとって良い影響があると思うから

と大学に「地域スポーツ振興」に期待する声が多数を占めた。この結果から、大学が「大学スポーツ振興」を推進すると同時に、「地域スポーツ振興」を推進することは地域の方々が大学に対する期待の表れと感じた。

さらにアンケートでは「8. その他」や他の質問に対し、大学が「大学スポーツ振興」を推進すると同時に、「地域スポーツ振興」を推進することは地域の方々が大学に対する期待の表れと感じる声としては

「中学生」

・今回、指導してくれた大学の野球部の指導者、大学生の皆さん、本当にありがとうございました。今度、試合を観に行き、応援したいです。

⇒「大学生の試合を観たい」、「他大学との交流戦」に期待する声

「保護者」

・大学生と中学生、たとえ年が違っても、志を持った者同士が野球のグラウンドで声を出して、動き回って、笑顔で、また真剣なまなざしは、「異世代交流」だけでなく、「地方の活性化」に繋がると思いました。企画してくれた方、そして賛同して子ども達を指導してくれた野球部の指導者、部員の皆さま、本当にありがとうございました。私は長崎国際大学野球部を応援します。がんばってください。

・大学生との練習なんてなかなか出来ないのありがたいです。

・大学生が地域スポーツの振興の一貫として、野球教室等を実施することで、夢やあこがれを持つことができ、中学生や高校生の部活動の活性化につながるため

・現在はまだ地域と大学のつながりが希薄なので、そのような活動によって、互いにとって良い影響があると考えから

⇒スポーツを通しての「異世代交流」、「地域スポーツ、及び地方活性化」を期待する声

・野球の練習だけでなく栄養のセミナーを行っていただきありがとうございました。朝食やバランスのよく食べることの大切さ改めて学習できたようでした。野菜たっぷりみそ汁は実践させていただいています。

⇒「体験教室」というスポーツの体験、技術練習だけでなく、「セミナー」を通しての「学び」に期待する声

これらの大学に対する「期待する声」を学内全体に浸透し、「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」の更なる推進に努めることとしたい。

(4) 事業実施におけるメディア報道について



①11/15 付：長崎新聞社掲載

スポーツを通じ地域貢献

②11/28 付：スポーツニッポン掲載

長崎国際大学男子バレーボール部

③1/29 付：西日本新聞掲載

スポーツを通じ地域貢献

④ミズノ(株)と学校法人九州文化学園協定締結式

2/3 付：毎日新聞掲載

2/4 付：西日本新聞社、長崎新聞社掲載

※テレビ放映：テレビ長崎（KTN）、長崎文化放送（NCC）、テレビさせぼ（TVS）

⑤2/5 付：教育芸術新聞掲載

キャンパス万華鏡：男女テニス部が大学祭で募金活動（)

今回のスポーツ庁より採択された本事業後、上記の様に各メディア（新聞、テレビ）の報道があり、地域の方々の関心の高さが伺える。特に事業採択後3社の報道（写真①～③）、さらに総合スポーツメーカーである「ミズノ(株)」と本学が属する「学校法人九州文化学園」との連携協定締結式（1/31実施）の報道については6社（3社：新聞掲載、3社：テレビ放映）については、関心の高さと同時に、本学においても本事業の実実施計画書「趣旨・目的」に記載したとおり「ブランド力向上」に繋がったと考える。

さらに、男女テニス部が8年間義援金活動による「大学祭出店による募金活動」が、2/5付の教育芸術新聞に全国の大学の10例の一つに選ばれたことは、スポーツ系の学生が「競技力向上」だけでなく、社会貢献活動を実施する人材であることが認められたと感じた。

またミズノ(株)との協定式後の2月には本事業のSA事業、SP事業を実施し、特に2/22（土）「野球部：大学交流戦（vs 東京大学戦）+体験教室」、2/29（土）「男女バレーボール部：大学交流戦（vs 志学館大学戦）+体験教室」では多数の観客者と体験教室の参加者を募る予定でしたが、昨今の「新型コロナウイルス感染症対策」による本学の危機管理委員会の方針により、「自粛：縮小、中止」になったことは非常に残念であった。

(5) 本事業における評価

①自己評価

本事業における評価指標及び目標

評価指標	目標	自己評価	外部評価
評価委員による全体評価 【評価:S、A、B、C、Dの5段階評価】	A評価以上	A	A

	評価指標	目標			自己評価	
			実績	達成率		
事業全体	自己点検・評価	プログラムの目的・概要	5段階評価:4以上	4.00	/	A 4
		学生:事業参加による事業評価アンケート	5段階評価:4以上	4.36		A 4
		参加者、同伴者:事業参加による事業評価アンケート	5段階評価:4以上	4.74		S 5
		事業実施による学生(サポート:企画、運営、地域振興)参加人数	300	215	72%	B 3
		事業実施による学生(参加:講座、)参加人数	700	1,122	160%	S 5
		事業実施による参加人数(外部)	2,000	1,160	58%	C 2
		事業実施による学外企業、団体数	20団体	60	300%	S 5
		外部による意見聴取	2回	2	100%	B 3
		アンケート調査	1,000人/年	448	45%	C 2
		チラシ配布数(長崎新聞社“NR”2月号タブロイド版「information掲載」23万部発行+促進ハガキ1,001枚)	8,000枚/年	239,121	2989%	S 5
		ホームページアクセス数	3,000件/10月~3月 ※1ヶ月:500件×6ヶ月	750	25%	C 2
		強化指定部員及び体育会部員による単位取得状況調査	調査の実施	実施	100%	B 3
		強化指定部員及び体育会部員によるGPA	調査の実施	実施	100%	B 3
		県内就職者実績(県内出身学生における県内就職実績)	調査の実施	実施	100%	B 3

【評価基準】

- S(5): 計画を上回って実施しており、かつ先進的な事例に値する。
- A(4): 計画を上回って実施している。
- B(3): 計画を十分に実施している。
- C(2): 計画を十分に実施していない。
- D(1): 計画を全く実施していない。

3.27

②外部評価、意見聴取

外部評価、意見聴取については予定では、11/19（水）に開催した「連携連絡会議」にて承認した「スポーツプロジェクト推進協議会」を改めて、3月中に会議を開催し、本報告書の説明後、「外部評価・意見聴取」を行う予定であった。しかしながら、昨今の「新型コロナウイルス感染症対策」における本学危機管理委員会の方針により会議開催が難しい状況となった。

その結果、「スポーツプロジェクト推進協議会」のメンバーの皆さま、また本事業を遂行するにあたりご協力いただいた関係者も皆さまにメール等で本報告書を送信し、幅広く「外部評価・意見聴取」を行うこととした。結果については、

【回答件数】競技団体：2団体 企業：6社 教育機関：1校 行政：7 計16件

【評価】平均評価3.88

なお、コメントについては以下のとおりである。

※企業・団体・行政名称については、正式な形態で外部評価について委嘱手続き等を行っていない関係上、未記載。

【競技団体 A：評価 A(4)】

・今回の取り組みに対しての皆様の行動、大変感動しました。今後の活動にも期待しております。

【競技団体 B：評価 A(4)】

・事業趣旨や目的が明確であり、「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」に取り組むことは、長崎国際大学のブランド向上のみならず競技力の向上や競技人口の拡大に結びつく事業だと考えられる。これまで、小・中・高の連携は各競技団体でも行われてきたが、地域の大学との連携は薄かったので、意義ある事業だとも考える。事業の推進においても年間を通して計画的に実践されていて、事業ごとに参加者からのアンケート調査による成果と課題の分析が明確になされていて今後につながると考えられる。また、事業の推進にあたって企業とのコラボやメディアの効果的な活用も見られる。ただし、地域スポーツ振興のためには、もっと幅広い年齢層や多くの小中学校、あるいは保幼への呼びかけが必要ではないかと考える。

【企業 A（銀行）：評価 A(4)】

- ・各評価項目ともに、コロナウイルスによる影響をうけながらも、おおむね計画を上回って実施がなされた。
- ・また、当該取組みについてはメディアにも大きく取上げられ、長崎国際大学のプレゼンス向上につながったものと思慮。
- ・本取組みについては、地方創生の一助となることから来年度以降も継続実施されることを期待する。

【企業 B（広告代理業）：評価 B(3)】

地域スポーツ振興・大学スポーツの振興、という方向性においては、さまざまなジャンル（種目）のスポーツの情報を横断的に集約する必要があると思われませんが、各部のコミットが十分ではない印象、もしくは、部によって温度差がある印象を受けます。また、完全ではないにしても、大学スポーツによって収益が得られる仕組みを構築することも目標の一つだと思われませんが、ビジネスモデルを描ききれていない印象があります（補助事業のみで終わってしまう可能性）。とはいえ、プロジェクトとしてははじまったばかりであると考え、各種イベント開催と運営を可能な範囲で実行に移し、参加者からの一定の評価を得られたのは大きな成果であるといえます。その結果として、今後、より組織的に取り組みを行なう体制が整う方向性が示されています。このことは、大学の新たなブランデ

ィングの道筋を示すことに成功したということであり、本年度事業の目的を達成していると思います。

【企業 C（新聞社）：評価 B(3)】

計画に沿って事業を着実に実施してきていると見受けられます。一部実施していない事業の多くは、新型コロナ感染症への対応によるもので、大学側の不作為が原因とは認められません。よって、計画を十分に実施していると評価できます。

ただし、計画による効果については、なお未知数の面があり、現時点での評価は「B」にとどめるのが妥当と判断しました。

【企業 D（総合スポーツメーカー）：評価 A(4)】

目的の一部にある「地域スポーツ振興」という面において、特に評価が出来るものと思われる。

コロナウィルスの影響により一部が未実施出来なかったものはありませんでしたが、大学生だけにとどまることなく地域の中学生やその父母に対してもアプローチがしっかりと行われていると読み取れました。

また、参加者の満足度もアンケート結果から高いことも伺う事ができます。佐世保という地域において普段体感する事が難しい高いレベルの指導やプレーを見る事の出来る貴重な場であったと思われる。

学生に対しては、弊社も参画させていただいた「ミズノプレイリーダー」の講習を実施されており、他の大学ではまだ取組が少なく特徴的なものであったと思われる。感覚的に子どもに接するのではなく、ライセンス制度によって論理的に接する事の重要性などを学生が学べ、学生そして指導を受ける児童双方にメリットがあると感じます。

その他に関しても、概ね自己評価と乖離がないものと思い「A」評価とさせていただきました。

【企業 E（スポーツクラブ）：評価 A(4)】

大学スポーツ振興の取り組みとして地域を巻き込み実施している点において、とても価値があるものだと感じる。またメディアの関心の高さから先進的な取り組みであることは間違いないと考えられ、長崎県全体のスポーツ事業の活性化に繋がると連想される。長崎県のスポーツ競技人口が減少傾向にある中でこのような取り組みは、強化部活生の意識改革と競技レベル向上にも繋がり、高校生や中学生の興味関心を引くことができるとも考えられる。地方では化学根拠のあるトレーニングを受講できる場が少なく、これが競技者の流出や競技人口の減少にも繋がっていると考えられトレーニング講習会はとても意義のあることだと考えられる。

【企業 F（航空業界）：評価 A(4)】

スポーツプロモーション事業、学生スポーツアドミニストレーター育成事業共に策定された計画を確実に実行し、地域スポーツ振興へ参加者のアンケート結果の通り高い評価で結果を出されている。

【教育機関 A（中学校）：評価 A(4)】

本事業は、これからの学校部活動や社会体育の在り方を考える上で非常に興味深く、必要性を強く感じる内容であった。特に、部活動プロジェクト、大学部活動インターンシップなど、中学生にとって有意義な指導を受ける機会になった。大学生のプレーを見て憧れを抱く者もあり、スポーツを続けていく原動力にもなると考える。今後も本事業をさらに工夫・発展させ、推進していただきたい。できれば、定期的に中学校の部活動指導にも参加し、具体的に教える機会があればよいと思う。

【行政 A：評価 A(4)】

自己分析や分析結果に基づく評価に記載されていることについて、疑義はなく、今後のスポーツ振興及び地域振興につながる大変有意義な取り組みであると思います。

【行政 B：評価 S(5)】

今回の地方創生 N I U スポーツ人材事業については、周辺自治体・企業や学校、保護者、学生等を対象に多彩かつ専門性の高いプログラムを実施されているうえ、幅広い世代に対する実施で波及効果もあり参加者も満足度も高い。

一方で将来のスポーツ系学生の育成にも取り組んであり、長崎国際大学の地域貢献・地域スポーツ振興の一環として地域に根差した大学の本来の姿も示している。

これらから、本事業については、計画を上回る実施で、かつ先進的な事例として高く評価するものである

【行政 C：評価 A(4)】

コロナウイルスの流行により不測の事態が生じたことから、計画事業の遂行や目標値の達成に影響が出ていますが、多種多様なスポーツ関連事業を実施しており、本取組が地域振興に大きく寄与していると考えます。

また、若年層の人口流出が喫緊の課題とされる本県において、スポーツが果たす役割は大きなものであり、本取組を可能な限り継続していくことが重要だと感じます。

【行政 D：評価 A(4)】

- ①本事業は申請時以前から具体的活動が始められ、7月の採択通知の段階では本格的な活動が開始されていた。ただし、市役所、教育委員会、町内会等の参加・協力はスポーツ庁と大学との間での事業実施の契約後になってからのものだった。
- ②学生スポーツアドミニストレーター養成は計画通りに進められた。1月後半以降の新型コロナウイルス感染症の広がりがあって、それ以降は指導関係の運用面で厳しい状況が続いた。
- ③大学スポーツアドミニストレーター配置事業は大学内部と地域社会の両面において十分認識され、理解されているわけではない。まだまだ、啓発の段階であって、目標の7分目程度にとどまっている。これからが大学と地域社会の関係を創造的につくりあげなければならない。
- ④その点では、評価はAを上回るが、Sとするまでではないものとした。それでA(4)+という評価を出している。
- ⑤今後の地域での実践を踏まえた継続性を期待したい。

【行政 E：評価 A(4)】

- ・長崎県の最重要課題である若者の県内定着促進に向けて、大学生と地元企業の直接交流の強化は県としても重要視しているところ。地域のスポーツ振興を切り口に大学生と県内企業の交流のボリュームが拡大し、ひいては、学生達の将来の選択肢として県内就職も候補にあがることを期待したい。
- ・また、県内大学における本県出身者の県内就職率は6割程度と高いことから、小中学生の早い段階から地元の大学の魅力に接することは将来の人口減少対策にも資するものとして評価できる。

【行政 F：評価 A(4)】

- 新型コロナウイルス感染対策等の影響により、事業数や参加者数については、縮小せざるを得なかったが、参加した学生や、同伴者等の満足度は高く、本事業への関心の高さが伺える。
- 県内出身学生における県内就職実績調査でも、実施達成率 100%と若者の県内定着に

際し一定の効果が確認できる。

■チラシ配布数の目標に対しても大幅超過するなど本事業推進への努力が見られる一方で、アンケート調査数及びホームページアクセス数が目標に届かなかったことを反省点とし、次年度以降は情宣活動等への注力が求められる。

■自治体との連携を強化しつつ、更に本事業を推進していただきたい。

【行政 G：評価 B(3)】

予定された事業については広く周知を行うなど集客に努め確実に実施されており、また参加者の実績や企画内容の満足度の高さなど、一定評価できる。

ただ、活動内容に対する評価ではなく、本事業を通してどのような効果が生まれ、またどのような成果の向上につながった、などの視点で評価できるものがあれば、更に事業が違った視点で確認でき、次の展開につながるものと思われる。

3. 本学におけるスポーツ分野統括業務、及びスポーツ・アドミニストレーター業務について

(1) スポーツ分野統括業務

2019 年度

- ・事務局において、地域連携室が「地域スポーツ振興」、「UNIVAS：一般社団法人大学スポーツ協会」、「大学スポーツ振興及び支援」について業務を行っている。

長崎国際大学 事務組織規程 第 2 章 事務分掌 (地域連携室) 第 20 条

(10) 地域のスポーツ振興に関すること

(11) 「UNIVAS：一般社団法人大学スポーツ協会」等、大学スポーツの振興及び支援に関すること

2020 年度

- ・事務局に「スポーツ統括部局」を立ち上げる。また、本学では地域連携部門（プラットフォーム含む）、産学連携・研究支援部門、スポーツ支援・振興部門（スポーツ統括部局）と連携して、業務を行う計画である。

(2) スポーツ・アドミニストレーター業務（経歴含む）

2019 年 6 月 26 日付：スポーツ・アドミニストレーター 徳吉 剛（兼地域連携室長）

経歴

- ・長崎国際大学男子テニス部監督、女子テニス部監督
九州学生テニス連盟公式戦（個人戦、リーグ戦）帯同による部員指導
九州学生テニス連盟部長監督会副会長（担当：学連の相談役）
- ・長崎県テニス協会国体強化委員長兼成年男子、成年女子監督、少年女子監督
九州ブロック大会、本国体参加。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会公認テニスコーチ 3（登録番号 052C0205076）
- ・桜美林大学大学院大学アドミニストレーション研究科通信教育課程 修了
修士論文（2007 年度）テーマ「大学スポーツにおける地域への貢献に関する一考察～N 大学スポーツ改革を中心にして～」学籍番号 20641728
- ・本学における過去の経験課
学生課（3 年）⇒入試・募集センター（2 年）⇒キャリアセンター（7 年）⇒庶務課（1 年）
⇒総務課（1 年 2 ヶ月）⇒地域連携室（3 年 9 ヶ月：現在に至る）

- ・前職：株式会社ルネサンス 2001年より長崎国際大学、現在に至る。

2019年度

- ・本事業の遂行のため、学内、及び学外との連携強化に努めた。

詳細については、前述の

2. 事業報告書（事業結果説明書）

(1) 事業、また「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」関連事業の実施状況を参照。

- ・本事業の遂行

2020年度

- ・事務局「スポーツ統括部局」業務、並びに学外の団体とは「スポーツプロジェクト推進協議会」の運営

(3) NCAA 視察研修を終えて

1/20（月）～1/26（日）に於いて、「NCAA 視察研修」に行き、「NCAA コンベンション会議」及び3大学視察を行った。この視察研修では以下のことが分かった。

(NCAA の組織について)

○NCAA 理事会

- ・ディビジョンIディレクター評議会
- ・ディビジョンI協議会
- ・ディビジョンII学長協議会
- ・ディビジョンIIマネジメント協議会
- ・ディビジョンIII学長協議会
- ・ディビジョンIIIマネジメント協議会

○NCAA 内にある「協会横断的な委員会」

- ・競技の安全性保護と医療的側面に関する委員会
- ・栄誉に関する委員会
- ・マイノリティへの機会と興味に関する委員会
- ・オリンピック・スポーツ連携委員会
- ・大学院奨学金委員会
- ・調査委員会
- ・スポーツマンシップと倫理行動に関する委員会
- ・ウォルター・バイヤーズ奨学金委員会
- ・女性スポーツ委員会
- ・海外からの学生に関する記録（ディビジョンI、II）
- ・高校に関するレビュー（ディビジョンI、II）
- ・学生に関する記録のレビュー（ディビジョンI、II）
- ・プレー規則に責任を持つNCAA委員会

引用：米国における National Collegiate Athletic Association (NCAA) の歴史的変遷（松尾、相澤、井上、松元）

(アスレチックディレクターの主な役割)

- ・経営・財務に関する機能
- ・人事に関する機能
- ・学業管理に関する機能
- ・コンプライアンス上の責任に関する機能



引用：米国の大学におけるスポーツアドミニストレーターとしてのアスレチックディレクターの機能（松尾、松元）
について現地視察により、理解できた。

本学としては、「スポーツ統括部局」として以下の部門によりスポーツ系学生のサポートが出来る様、準備を行いたい。

**地域スポーツ振興部門、学業・キャリア部門、安全安心（コンプライアンス）部門、
スポーツ支援・事業部門**

この4部門を通して、「スポーツ系の学生のため、地域の子ども達のため」に事業展開を目指す。

最後に、この「NCAA 視察研修」を企画、及びサポートをいただいた

筑波大学 AD 局：山田先生、佐藤先生、松尾先生、和田課長

(株)ドーム中田様

この「NCAA 視察研修」により、教育、及びスポーツを通してスポーツ系学生の支援の本質また必要性、地域スポーツ振興の必要性を教えていただき、また様々な情報を提供いただき感謝の意を表すとともに、皆さまからご提供いただいた情報を本学のスポーツ系の学生、さらにスポーツをがんばっている地域の子ども達に還元させていただきます。

4. 大学スポーツ振興、地域スポーツ振興における先進的モデルについて

(1) 大学スポーツ振興

本事業で実施した「大学交流戦＋スポーツ体験教室」を学外団体の教育委員会、関係諸団体と協力し実施、かつ観戦者である「地域の子ども達」については競技の初心者であれ経験者であれ、体験教室を行う。状況によっては、行政と企業の協力（協賛）を得て、実施する。

その結果、学生は観客が多い中で試合をすることになり必然的に「競技力向上」につながり、さらに「体験教室」を行うことで子ども達への指導により「指導力・コミュニケーション力」の向上につながり、「地域スポーツ振興」だけでなく、本学に対するステークホルダー増にも繋がる。

(2) 地域スポーツ振興

本事業で実施した「小学生対象体験教室」、「大学部活動インターンシップ：対象 中学生」について、「（スポーツ体験教室）＋（スポーツセミナー：大塚製薬、ミズノ）＋（教育：IT 教育 or 英語 or 茶道 or 理系科目の実験教室他）」を実施する。

また、小学生高学年又は中学生高学年対象の子ども達に対する「スポーツ専門スクール：〇〇塾」を開校の検討を行う。勿論、このスクールでは、専門スポーツ競技だけでなく、「（スポーツセミナー：大塚製薬、ミズノ）＋（教育：IT 教育 or 英語 or 茶道 or 理系科目の実験教室他）」を交え、「産学官連携事業：（行政：市・県）＋（産業：大塚製薬 or ミズノ）＋（教育機関：本学）」として実施する検討を行う。

実施する機会が増えれば、地域の子ども達が「地（知）の拠点」である大学に気軽に訪れることになり、「競技制のスポーツ」や「楽しくスポーツ」をするだけでなく、教育の面からも「学びの場」となり、教育効果が高まることに繋がる。

(3) 「スポーツプロジェクト推進協議会」について

会議資料：「20191119 スポーツプロジェクト推進協議会」

2019（令和元）年度第1回連携連絡会議 — 佐世保市と長崎国際大学との包括連携事業 — 【第1部】

1. 日時 2019（令和元）年11月19日（火） 15:00～
2. 場所 長崎国際大学 本部棟2階 会議室
3. 次第 (1) 挨拶 長崎国際大学 学長 中島憲一郎
(2) 出席者紹介：【資料1】、及び配布資料の確認
(3) 説明、報告、意見交換

説明、報告

1. 【資料1】 文部科学省、スポーツ庁、長崎国際大学、長崎県、佐世保市
・「大学スポーツの振興」に関する動向
・長崎県市町別年齢別推計人口（20181001現在）
・長崎県 スポーツ（テニス、バレーボール、野球）中学校 高校 登録人数
・「NIU スポーツサポートセンター（仮称）」設置構想に関する経緯
・スポーツ庁採択事業：長崎国際大学 ポンチ絵
・長崎国際大学公認団体体育部成績（11/10現在）
2. 【資料2、3】 採択事業イメージ、事業計画書、実績、他
・イメージ・事業計画書・実績【資料4】・ミズノ：プレイリーダー 1/11（土）実施
3. 【資料5】 190621【内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局】まち・ひと・しごと創生基本方針
2019について P14 スポーツ・健康まちづくりの推進

意見交換

(4) 審議事項

1. 会議の名称 **【ご提案】スポーツプロジェクト推進協議会**

(5) 依頼事項

1. 長崎国際大学 ～スポーツプロモーション事業＋学生スポーツアドミニストレーター育成事業
＝地方創生 NIU スポーツ人材育成事業～
事業実施における協力のお願：学生の為、地域の子どもの為
2. 令和2年度 スポーツ庁概算要求主要事項
大学スポーツ資源の活用による地域活性化拠点形成支援事業
(前年度予算額：111,190千円) ⇒ 令和2年度概算要求額：263,000千円

以上



「スポーツプロジェクト推進協議会」については、11/19（火）に開催した「2019（令和元）年度第1回連携連絡会議」にて、「3.次第（4）審議事項 1.会議の名称：スポーツプロジェクト推進協議会」を本学から提案し、承認された。

この会議には、本学及び本法人と連携協定を締結している行政・企業・団体から行政は5団体：9人、企業は4団体：4人、本学は教員2人（地域連携センター）、職員3人、学生は4競技：4人が参加した。

同会議では前述の開催要項のとおり、大学スポーツの振興に関する動向、長崎県における3競技（野球、テニス、バレーボール）の中体連、高体連の登録人数、採択された本事業の説明、本学における「NIU スポーツサポートセンター」設置構想に関する経緯等、さらに「内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局：まち・ひと・しごと創生基本方針2019」、並びに「令和2年度スポーツ庁概算要求主要事項：大学スポーツ資源の活用による地域活性化拠点形成支援事業」について説明し、賛同を得た。

また同会議には、強化指定部（男子バレーボール部、女子バレーボール部、男子テニス部、野球部）の主将クラス4人が参加し、今後の本学における「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」について、産学官連携をとおして事業展開することが確認出来たと思う。

この会議に参加した4団体の強化指定部については、本事業においては非常に協力的かつ積極的に活動した。

この会議後、本学において、2019年度は「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」の準備期、2020年度からは活性期として、学内外の様々な団体と協力して、本学の「スポーツ系学生のため」、「スポーツをがんばっている地域の子どものため」に活動する“きっかけ”になったと感じた。

5. 総括

本事業の主旨は、

- ・本学のスポーツ系学生：471人（学生対比20.7%）に対する「支援」の考察
- ・本学のスポーツ環境（施設、人材）による大学近隣地域における「地域スポーツ振興」の必要性についての考察
- ・本学における「スポーツ支援・振興」の分野による「スポーツ統括部局」の必要性についての考察

を通して、地域の方々に対する「スポーツ振興」が、本学支援者であるステークホルダー増だけでなく、本学への入学者増の可能性、さらに本学が所在する長崎県は人口流出が多いことから、スポーツの分野から本県の人口流出対策の一役を担うかということがメインであった。

また本事業を遂行する上で、学外においては長崎県教育委員会、佐世保市教育委員会、関連する競技団体、本学及び本法人と連携協定を締結している行政・企業・団体、指導者、保護者、そして事業に参加した子ども達とお話しする機会が多々あり、その中で

（行政）「人口流出が多い長崎県、何とかしないといけない。」

（行政、関連する競技団体）「少子化により、スポーツをがんばっている子ども達が減っているから、何とかしないといけない。」

「少子化もだが、スポーツの県外流出が多くなってきているのでその対策や部活動を引退した後、高校までの長い期間、その期間をサポートしてくれる環境が無いだろうか。これらを解決すれば、県外流出や地元の高校でスポーツをがんばる子ども達が増えるのではないだろうか。何とかしないといけない。」

（中学校指導者）「学校は業務が多く、部活動の子ども達の面倒を見る機会が減っているか

ら、何とかしないといけない。」

「大学の指導者と会う機会が増えたので、指導について情報交換をもっと行い、普段の練習にいかしたい。」

(大学指導者) 「日本の西の端である佐世保から、指導に関する講習会を受けたいが、交通費を払って行くのも難しいし、大学における業務在り、でも部活動でがんばっている学生のためにも私たち指導者も、何とかしないといけない。」

「普段から一生懸命練習に励んでいる学生に対し、競技力向上の支援だけでなく、卒業後の社会人になるために支援、特に学業面(社会人基礎力含む)についてもサポートする必要があるが、指導者レベルだけでなく、やはりスポーツを統括する部局を立ち上げる必要があるが、何とかしないといけない。」

(中学生の保護者) 「なかなか中学校の部活動の練習環境が悪く、せっかくがんばっている子ども達のために車出し等はサポートが出来るが、練習環境についてはどうも出来ない。何とかしないといけないとは思っているが…」

「あと3ヶ月ほどで部活動も引退するが、その後高校受験もあるが、高校までの長い期間、どうしても体力や技術、そして試合勘が無くなるので、大学等で練習する機会を設けて欲しい。」

(企業) 「大学の担当者から、佐世保のスポーツ状況、また少子化の状況を把握したら、企業レベルではなく、企業・行政・教育機関による『産学官連携』として、何か出来るのでは…、何とかしないといけないですね。そうしないと私たち企業も売上げに関わる。」

と、「何とかしないといけない。」という考えを持っている人たちが多いことが分かって来た。また、同時に本学の学生は

「もっともっと、日頃から練習で使えるトレーニングを教えて欲しい。」

「スポーツ系の資格を大学で取得できる環境をもっと整備して欲しい。」

「他大学との交流戦、観客が多い中で、是非やってみたい。」

「地域の子ども達を指導したが、子ども達も楽しそうだし、私たちも本当に楽しかった。中学生の時のことを思い出し、自分たちが中学生の時に大学生が教えてくれたら、もっとよかったと思うので、これから地域の子ども達をもっともっと教えたいと思う様になった。」

「体験教室を通して、たくさんの子ども達を教えて、ファンを増やし、リーグ戦や他の大学との交流戦の時に応援に来てほしい。」

「大学が部活動や卒業後のことに関して、気軽に相談できる場所、トレーニングが出来るスペース等、部活動を頑張っている学生が集える場所を考えて欲しい。」

等の掘り起こしによる意見があり、スポーツ支援・振興において「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」、さらに本学のスポーツ系の学生に対する支援の必要性は確認できた。

次のステップについては、これらの必要不可欠な課題に対し、学内外(産学官)を含めたどのような組織で企画し、実行するかを大学(教職員・学生)だけでなく、行政、企業、及び関連する競技団体と協議し、組織を立ち上げ、実行することが重要であると考えた。

その結果、本事業の主旨である「スポーツの分野から、人口流出対策の一役を担う」ことについて、大学の教職員、学生を含め、産学官連携により実施し、「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」が「学生のため、地域の子ども達のため」になりうるという考えに対し、賛同する方々と組織(団体・企業・行政)が多くなってきたと感じた。

今後、本学が属している地方から、スポーツを通しての「地域振興」、「地方創生」について、本学での活動が「ロールモデル」になる様、活動する。

6. 謝辞

まずは、本事業を通して、日本各地の「大学スポーツ振興」、及び「地域スポーツ振興」について情熱を持って、真剣に取り組んでいる大学の関係者の皆さま、惜しみなく数々の情報提供、及びアドバイスをいただき、厚く御礼を申し上げ、多大なる感謝の意を表します。

次に、本事業により本学に在学している「スポーツ系学生」、さらにスポーツで頑張っている「地域子ども達」に対してサポートが出来たこと、また長崎県、及び佐世保市教育委員会をはじめとした行政の方々、企業の方々、さらに関連する競技団体の方々からの「大学スポーツ振興」、「地域スポーツ振興」の必要性についての意見の集約ができ、本事業が遂行出来たことについては厚く御礼を申し上げ、多大なる感謝の意を表します。

また事業の参加について検討いただき、指導者、生徒を送っていただいた中学校、及びクラブ関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

加えて、本事業の外部評価、意見聴取に対し、ご協力いただいた「競技団体、行政、企業、教育機関」の皆さま、ありがとうございました。

最後になりますが、学内において、「NIUS 会議」を通して様々な議論を行い、企画実施について協力いただいた国際観光学科スポーツツーリズムコース教員の皆さま、必要なデータについて情報提供をいただいた「大学評価・IR 室」、「キャリアセンター」、「学生課」の職員の皆さま、そして本事業を遂行するにあたり、様々な事業に協力いただいた強化指定部の指導者、学生の皆さんにも厚く御礼を申し上げ、多大なる感謝の意を表します。

本事業における長崎国際大学の責任者及び事務担当者

氏名	職名	連絡先 (TEL番号、FAX番号、メールアドレス)
(責任者) 川崎 辰秋	会計課長	TEL : 0956-39-2020 (代) FAX : 0956-39-3111 (代) E-Mail : kaikei@niu.ac.jp
(事務担当者) 徳吉 剛	地域連携室室長 兼スポーツ・アド ミニストレーター	TEL : 0956-39-2020 (代) FAX : 0956-39-3111 (代) E-Mail : renkei@niu.ac.jp

※責任者については、本委託事業に係る経理責任者を記載すること。

事務担当者は、本委託事業の担当課との窓口となる者を記載すること。

20200217and0225

**【スポーツ庁採択事業：大学スポーツ振興の推進事業】
トレーニング講習会**

【日時】2020（令和2）年2月17日（月）、25（火）

実技・講習1：10：00～12：00

ウォーミングアップメニュー、クールダウンメニュー、ストレッチ

実技・講習2：13：00～16：00

トレーニングメニュー

【対象】本学強化指定部

【場所】2/17：長崎国際大学体育館

2/25：【講習1】1101教室 【講習2】東部ふれあい広場体育館

【講師】小田宏紀（日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー）

「アシスタント：永間 大将」

- ・福岡リゾート&スポーツ専門学校アスレティックトレーナー科卒業
- ・特定医療法人慧明会貞松病院（2016～2019）
- ・TORQUE（2019.10～）
- ・九州大学アメリカンフットボール部メディカルトレーナー（2016～）
- ・大村工業ソフトボール部トレーナー（2017～2019）



「パフォーマンス向上・最大限発揮するためのコンディショニングとトレーニング」

【本講習会の概略】

パフォーマンスには様々な要因があり1つひとつが歯車のように絡み合っています。練習では調子が良いが、試合で思うような動きや結果が出ないなど経験があるかと思います。また、効率の良いトレーニングを積むことでパフォーマンスは向上しますが、今行っているトレーニングが正しいのか？ネットでは真偽が疑わしく科学的根拠のある情報を手に入れるのは難しい状況です。プロ選手がやっていたから等の理由で同じトレーニングを行っても身体にプラスの影響があるとは言いきれません。どのようなトレーニングを積んで試合までにどのようにコンディショニングすれば良いのでしょうか。身体を動かしながら一緒に学びましょう！

問い合わせ先：地域連携室：徳吉（スポーツ・アドミニストレーター）



2月15日(土)開催：中学生対象

University Sports Internship in NIU

大学部活動インターンシップ

- 【第1部】 10:00～12:00 大学部活動インターンシップ
12:00～13:00 セミナー「スポーツにおける水分補給と栄養の大切さ」
講師：大塚製薬㈱ 講師：森岡 剛
- 【第2部】 12:00～13:00 セミナー「スポーツにおける水分補給と栄養の大切さ」
講師：大塚製薬㈱ 講師：森岡 剛
13:00～15:00 大学部活動インターンシップ

【対象部活動：長崎国際大学強化指定部】

男子バレーボール部【第2部】、硬式野球部【第1部】

男子・女子テニス部【第1・2部】

ソフトテニス部【第1・2部】、ゴルフ部【第1部】

ダンスサークル【第1・2部】

【後援】 スポーツ庁、長崎県教育委員会、佐世保教育委員会



【問い合わせ先】

長崎国際大学 地域連携室：徳吉、栗原、鶴田 総務課：坂本 TEL:0956-39-2020 (代)

【参加申込について：申込開始日：2/4(火)～、定員に達した場合は申し込み停止】

まずは以下のホームページ(以下、HP)に後日、掲載しますのでHPをご覧ください。

本学HP⇒「NIU スポーツ <https://sports.niu.ac.jp/>」⇒「Wanted 募集&開催告知」⇒
「2/15 大学部活動インターンシップ&2/22、29 体験教室」⇒ 応募フォーム で申込をお願いします。

※定員に達した場合、大学HP「NIU スポーツ」にてお知らせいたします。

※参加確定の方には、後日、開催のお知らせをしますので「renkei@niu.ac.jp」のメールが
取得できる様、どうぞよろしくお願い致します。

長崎国際大学主催 大学対抗戦

大学交流戦 第1弾



東京大学(東京六大学)VS 長崎国際大学 硬式野球部

2月22日(土) 場所:佐世保野球場

- 第1部 野球教室 ※対象:中学軟式野球部所属
(開始:午前 10 時予定)※参加無料定員 70 名
第2部 東京大学 vs 長崎国際大学 練習試合
(開始:午後 1 時予定)

「体験教室」の
申込方法は、裏
面を見てくださ
い。
申込について
は、本学 HP :
「NIU スポー
ツ」にてお願い
します。

大学交流戦 第2弾



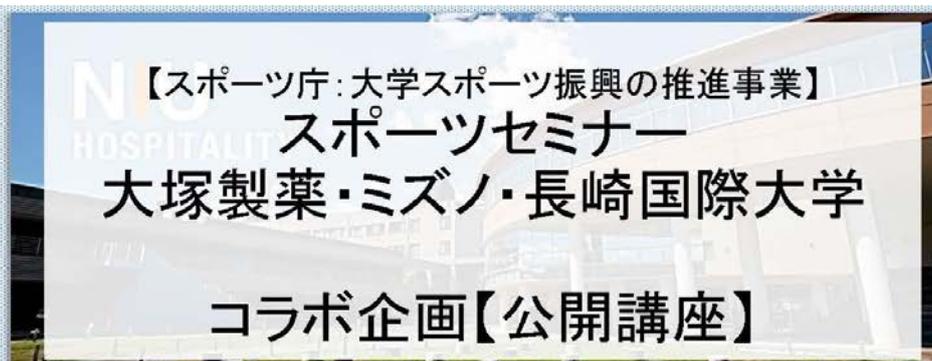
志學館大学(九州連盟1部)VS 長崎国際大学 男子・女子バレーボール部

2月29日(土) 場所:長崎国際大学体育館

- 第1試合 10:00 試合開始【男子】 志學館大学 vs 長崎国際大学
第2試合 12:00 試合開始【女子】 志學館大学 vs 長崎国際大学
バレーボール教室 ※対象:中学生、小学生男・女
(開始:第2試合終了後)※参加無料

長崎国際大学はスポーツを通じて子どもたちと楽しみ、スポーツ振興に貢献していきます!!

本企画は、2019年度スポーツ庁採択事業「大学スポーツ振興の推進事業」により開催しております。



【日時】 2020(令和2)年1月11日(土)

【場所】 長崎国際大学 2号館、4号館

【時間】 第1部: 10:00～12:00 第2部: 13:00～17:00
(受付 9:30～)

【対象】 学生、指導者、教育(保育園・幼稚園含)関係者、スポーツが好きな方

【受講料】 無料 **定員:【第1部:50名】【第2部:30名】**

【第1部】 10:00～12:00

大塚製薬(株) 講師: 森岡 剛

テーマ:

スポーツにおける「水分補給と栄養の大切さ」



【第2部】 13:00～17:00

美津濃(株)(ミズノ)スタッフによる「プレイリーダー講習会」

※受講者にはライセンスカード付与「MIZUNO PLAYLEADER3級」

【問い合わせ先】

長崎国際大学 地域連携室 担当: 徳吉 TEL:0956-39-2020(代)

【参加申込について: **締切期限1/9(木)**】

本学HP⇒「NIUスポーツ<https://sports.niu.ac.jp/>」⇒「Wanted募集&開催告知」⇒「スポーツセミナー」⇒応募フォーム で申込をお願いします。

※定員に達した場合、メールアドレスにてご連絡いたします。

※参加確定の方には、後日、開催教室のお知らせをしますので「renkei@niu.ac.jp」のメールが取得できる様、どうぞよろしくお願いいたします。

ミズノプレイリーダーとは？

運動遊びをきっかけに子どもたちの

「ココロ」と「カラダ」を笑顔にさせ、明るい未来を創造します。



プレイリーダー方針 その1

コト

チャイルドファーストに
とついた運動あそびを
提供します。

プレイリーダー方針 その2

バ

子どもたちが安心して
運動あそびができる
空間を造ります。

プレイリーダー方針 その3

トキ

個性と想像力を尊重し
遊びの時間「体験」を
満ちます。



<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども（幼児）を対象とした運動遊びの基本的な内容を習得する。 ・ミズノプレイリーダーの理念、役割、目的を理解する。 ・施設の備品等を使い、運動遊びの場の提供と見守りができるように研修。 	<p>学費 1600円</p> <p>演習 120分</p> <p>30分 アンケート作成</p> <p>30分 インフォメーション&クロージング</p> <p>「健やかな育みを求めて」 1.子どもたちが抱えている問題 2.育ちのリテラシー 3.体力・運動能力調査より 4.二酸化二酸化 5.なぜ、子どもたちはこうなったのか？ 「プレイリーダーとは？」 6.子どもを育てる 7.プログラムの作り方 8.運営の技術</p> <p>ミズノスポーツサービス株式会社 ミズノプレイリーダー1級 「プレイリーダー実技演習」 遊びのコンテンツ、遊びの伝え方、遊びプログラムの解説</p>
<p>対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政 ・企業 ・保育園・幼稚園 ・保育関係の大学 	<p>愛知県尾張旭市の「ちびっこ元気まる」プロジェクトの取組で、「ミズノプレイリーダー3級養成講習会」を実施しました！</p> <p>幼児期の子どもたちにとって多種多様な動きの経験は重要で、そこで得た経験が、今後出会う様々な場面に対応することができるようになります。その動きを、楽しく自然に外遊びに導入できるようにする養成を目的として創立保育園で実施。運動遊びグッズを使った、運動遊びプログラムを実施して頂き、ミズノプレイリーダーライセンスを取得して頂きました。</p> 
<p>受講すると</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライセンスカードの付与 ・基本的な運動あそびプログラムの習得 	

幼少期に身につけたい36の基本動作

運動発達に必要な36の基本動作の中で20種類の動きを行います。遊びの中から運動発達の芽を伸ばしていきます。



体のバランスをとる動き(平衡系動作)・・・姿勢変化や並行維持の運動

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
① たつ たつたつあがも かびのレナド 1714	② おせる おせるおせる おせるおせる	③ まわる まわるまわる まわるまわる	④ くむ くむくむくむ あんだん	⑤ わたる わたるわたる あいてわたるあいてわたる	⑥ ぶらさがる ぶらさがる	⑦ せかだちする せかだちする	⑧ のる のるのるのる	⑨ うく うくうくあがるく あがるくうくうくあがるく	

体を移動する動き(移動系動作)・・・上下、水平方向の移動や回転移動

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ あるく あるくあるくあるく	⑪ はしる はしるはしる はしるはしる	⑫ はねる はねるはねる はねるはねる	⑬ すべる すべるすべる すべるすべる	⑭ とぶ(ジャンプ)のちのち とぶ(ジャンプ)のちのち とぶ(ジャンプ)のちのち	⑮ のぼる のぼるのぼる のぼるのぼる	⑯ くだる くだるくだる くだるくだる	⑰ はう はうはうはう	⑱ およぶ およぶおよぶ	

用具を操作する動き・力試しの動き(操作系動作)・・・モノや自分以外の他者を扱う運動

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑲ もつ もつもつもつ もつもつもつ	⑳ ささえる ささえるささえる ささえるささえる	㉑ はこぶ はこぶはこぶ はこぶはこぶ	㉒ おす おすおすおす おすおすおす	㉓ おさえる おさえるおさえる おさえるおさえる	㉔ こぐ こぐこぐこぐ こぐこぐこぐ	㉕ つかむ つかむつかむ つかむつかむ	㉖ てる てるてるてる てるてるてる	㉗ とる とるとる とるとる	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
㉘ わたす わたすわたす わたすわたす	㉙ つむ つむつむ つむつむ	㉚ ぼる ぼるぼる ぼるぼる	㉛ みる みるみるみる みるみるみる	㉜ ねげる ねげるねげる ねげるねげる	㉝ うつ うつうつうつ うつうつうつ	㉞ ける けるけるける けるけるける	㉟ ひく ひくひくひく ひくひくひく	㊱ たおす たおすたおす たおすたおす	



第15回 トップアスリートから学ぶ

各種スポーツ競技においてトップレベルでの実戦を体験してきた選手やスタッフによる体験談や実技講習等を通して、スポーツの神髄を学ぶことを目的で開催します。

テーマ トップアスリートから学ぶ

『体格が劣る日本人が世界と戦う為に必要なもの』

特別講師

コカ・コーラレッドスパークス

むかい しょうご

監督 向井 昭吾 先生

(ラグビー元日本代表監督)

ラグビーワールドカップ決勝戦間近にあの元日本代表監督がやってくる！



◆日時

令和元年10月30日(水) 15:00～

◆会場

長崎国際大学 1号館1101教室

◆主催

長崎国際大学 人間社会学部国際観光学科スポーツツーリズムコース

◆協力

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

◆お問い合わせ

国際観光学科・宮良 (☎0956-20-5593)、学生課・岡 (☎0956-39-2020代)

参加費無料！申込不要！
どなたでも参加OK！

※本企画は、2019年度スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」に採択された事業により開催します

パラリンピアンと考える障がい者スポーツ

障害はスポーツをする上で選手が乗り越えるべき壁なのか？

○日時 12月8日(日) 9:30受付 10:00開始 11:30終了

○対象 どなたでも参加可能(最大100名)

○場所 長崎国際大学 4101 教室(予定)

障がい者スポーツのトップアスリートである古城暁博(こじょう あきひろ)選手をお招きし、古城選手のこれまでの経験談等を聞きながら、みなさんとともに「障害はスポーツをする上で選手が乗り越えるべき壁なのか？」について考えていければと思っています。また、せっかくの機会なので、障がい者スポーツを体験していただくことも計画しております。



ラグビーW杯日本大会の盛り上がりを受け、さらに期待が高まる東京オリンピック・パラリンピックでは、普段目にする機会の少ない障がい者アスリートの活躍を見ることができます。一足先に皆さんと障がい者スポーツの魅力を楽しみながら学びあえればと考えています。

古城選手は、2000年シドニーパラリンピックの陸上競技100m(T42クラス)に出場し、8位入賞を果たしたパラリンピアンです。陸上競技引退後、アンブティサッカー(上肢や下肢に障害のある選手が行うサッカー)を始め、アンブティサッカーW杯に2014年と2018年の2大会連続で出場されています。2018年W杯では、日本代表チームのキャプテンも務められました。現在、健常者サッカーの監督をされるなど、指導者としてご活躍されています。



参加申し込み・問い合わせ先
長崎国際大学人間社会学部国際観光学科
助教 宮本 彩
メール：a-miyamoto@niu.ac.jp
電話：0956-20-5533

本イベントは、2019年度スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」により開催いたします。

学長	学部長	受任者

事務局長	事務局次長	予算執行部署長	所属課長

令和元年度出張復命書

学校法人 九州文化学園
長崎国際大学
学長 中島 憲一郎 殿

2019(令和元)年12月11日

申請者
所属:地域連携室
職名:室長 兼スポーツ・アドミニストレーター
氏名 徳吉 剛 ㊟

下記内容にて出張致しましたので、復命いたします。

期間	令和元年12月7日(土)～令和元年12月10日(月)	
出張先	①2019 公認指導者講師競技別<テニス>全国研修会 場所:味の素 NTC ②筑波大学 先進的事例調査 同大学アスレティックデパートメント(以下、AD局)	
業務目的	①スポーツ庁採択事業:指導者研修事業(SP①-6)として参加 ②スポーツ庁採択事業:教育プロジェクト事業(SP②-1)として参加	
業務内容		
スケジュール ならびに 業務遂行状況 (相手先の所属氏名等を含めて具体的に記入)	日付	業務遂行状況
	12/7(土)	移動日
	12/8(日)	2019 公認指導者講師競技別<テニス>全国研修会:1日目
	12/9(月)	2019 公認指導者講師競技別<テニス>全国研修会:2日目 【同研修会における名刺交換者】 日本卓球協会副会長前原副会長、日本テニス協会畠山常務理事、澤田日本代表フィジカルコーチ、グリー(株)小木曾社長室社会貢献チームマネージャー →終了後、つくば市へ移動
	12/10(日)	筑波大学 AD局との情報交換 【他大学視察における名刺交換者:以下の報告事項に記述】 →終了後、帰学
報告事項 ならびに 今後の進め方	<p>【主な報告事項】 (12/8:1日目) 人間力なくして競技力向上なし:JOC 選手強化本部 ITA 専務理事福井烈氏 「指導者の指導向上なくして、選手のレベル向上はなし 指導者が研修を含め学ぶことを止めたら、指導者は辞めるべき エリート、プロフェッショナル、インターナショナル、インタラクティブ、チーム JTA(JAPAN)</p> 	

コーチング、マネジメント、コミュニケーション+コンペティション(思いやりと情熱)
これらの言葉が印象に残り、今後学生に伝えたい。

①卓球競技における育成・強化について 前原正浩氏(日本卓球協会副会長)

- ・2002年から変えてきた
- ・何も変えなければ、何も生まれない
- ・初期設定が大事
- ・これまでやってきたこと
- ・次世代の選手に託すこと

○志のある仲間と競技力向上、さらに指導者育成について改善を行うこと

○人に影響力を与えることが出来る指導者であるべき

○頂点を目指すには、心技体智が超一流に。

【卓球界におけるジュニアへのアドバイス】

オープンマインド、チャレンジ精神、ベストを尽くす、プラス思考、感謝、技術、メンタル、フィジカル、英会話、歯磨き、挨拶&握手し、相手の目を見て挨拶することの大切さを卓球界のジュニアに伝えているとのこと。

【本テーマの報告】

今回のテニス指導者に対する研修会・講習会であったが、他競技の「育成・強化」の話を聞くことは、今後のテニス界、また今後大学が「スポーツ振興」の観点からどのように関わっていくか、また本学における強化指定部の「育成・強化」の面でヒントとなった。

②日本スポーツ協会新資格制度に関する報告 井上直子氏(JTA 普及育成本部コーチング委員長)

テーマ:スポーツ文化を支える公認スポーツ指導者

【本テーマの報告】

本テーマでは、特に「2005年の制度改定から10余年が経過。社会もスポーツ界も大きく変化している」

今回、全国研修会・講習会であったが、九州からの参加者(大学関係者0名)が7名であった。他の地区においては大学関係者が3名と、UNIVAS、また大学スポーツ振興の面を考えると非常に少ない状況については疑問が残った。特にUNIVASにおいても「日本スポーツ協会」との連携による「公認スポーツ指導者+UNIVAS公認指導者」の提案がなれている通り、「大学スポーツ振興の推進」において、大学の部活動の指導者における公認スポーツ資格取得の周知並びに推進について、非常に重要であると感じたが関心の低さが非常に気になっている。この件については、まずは今回の採択事業の中で「指導者育成事業」もあることから、学内から広げることをもっと行っていきたい。

③特別講演:安全安心なインターネット社会の構築

講師:小木曾健氏(グリー(株)社長室社会貢献チームマネージャー)

【本テーマの報告】

SNSの怖さを分かり易く、講演があった。

本学で学生(スポーツ系学生含む)に対し、また「NIUキッズキャンパス」にて「特別講演」にて実施しても良いかと非常に感じた。

担当部局である「地域連携センター、地域連携室」にて検討する余地があると考えた。

④ 普及育成本部からの情報提供 榑木 聖氏(JTA 普及育成本部 普及委員長)

【本テーマの報告】

小学生対象の「テニピン」の話が主だった。

この「テニピン」については、今後「NIU キッズキャンパス」の低学年対象で実施することも検討し、来年の「NIU キッズキャンパス」にて実施の有無についてサポート学生に相談することとした。

またこの「テニピン」は今回採択された「スポーツ採択事業」における「小学校、幼稚園、保育園」への普及活動での低年齢層に対応できると考える。

⑤日本のテニスの中長期戦略プラン 畠山 康氏(JTA 常務理事)

【本テーマの報告】

- 1.データに基づくテニス環境の現状分析
 - 2.「日本のテニス」の中長期戦略プランー目的・目指す姿
 - 3.ビジネスプランの目玉施策概要
- 今後のテニス界の動向が分かった。

(12/9:2 日目)

⑥コーディネーショントレーニング(講義&オンコート実践) 澤田勝氏(JTA 強化本部テクニカルサポート委員)

【本テーマの報告】

今回の研修会で一番、興味がある内容だった。今後、講師である澤田氏を本学に招聘し、テニス部だけでなく、スポーツ系学生及び指導者に対し、コーディネーショントレーニングの講義&実践を考えたい。

理由としては、澤田氏は元来、サッカーの指導者であったが、現在は JTA の強化本部テクニカルサポート委員であることから、本学の強化指定部員及び指導者に対する指導も可能と考えた。

(12/10:3 日目 筑波大学との情報交換)

(面談場所 時間)

筑波大学グローバル・スポーツイノベーション棟

303 室 10:00~13:00

(筑波大学側対応者:AD 局)

山田副アスレティックディレクター、佐藤スポーツアドミニストレーター、高田スポーツアドミニストレーター、和田課長

(情報交換内容)※別紙参照

・同大学強化指定部 45 部:2000 名(学生対比 10%)の内 AD 局とのプロジェクト型で連携している部活動は 5 団体(野球部、男女バレーボール部、男子ハンドボール部、駅伝部)。全ての部活動と連携していない。あくまでもプロジェクト型で AD 局と連携しているとのこと。

・同大学では、スポーツ分野において「ASP:学生支援課」、「体育センター」、「AD 局」の 3 組織があり、

TSA:厚生補導に関する事項、俗にいう学生支援組織

体育センター:教育(同大学体育群)、施設管理組織

AD 局:現在は同大学の「産学連携本部:副学長」における部局

同大学の学長からは「スポーツの分野においてこの 3 組織を“横串し=統一”を」と言われて



	<p>おり、来年の3月にはAD局から提案をする予定とのこと。 同大学AD局のビジョン(別紙:)は</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部からの支援については、同大学と地元の紹介:関彰商事㈱と連携※し、同大学のアメフト練習場を設置したとのこと。※建設費、工事費、ネーミングライツ:3億円 但し、国立大学法人会計上、アンダーアーマー(㈱ドーム)※との連携による外部資金や寄付については、なかなか難しいハードルがあるとのこと。 ※学内にアンダーアーマー×筑波大学コラボショップ(アンダーアーマー直営店)があり、教職員・学生は2割引きで購入可能。但し、赤字運営。来年3月には閉店予定。 今後は、同大学のグッズを売っていた店も閉店になった経緯も含め、今後は別会社が同大学構内でショップを開店し、アンダーアーマー×筑波大学コラボグッズ(同社から仕入、販売)、及び筑波大学グッズ販売のショップを開店予定とのこと。 同大学AD局とスポーツ庁、UNIVASの関連について 本来、筑波大学は、大学スポーツの振興、日本版NCAA、及びUNIVASについては、スポーツ庁から主査としてサポートの依頼があり、UNIVAS準備委員会等、活動していたが、筑波大学はUNIVASについては、日本版NCAA創設前から準備委員会に入り、またスポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」では初年度8大学採択の一つの大学として、また既にAD局の立ち上げも進んでおり、全く反対ではない。むしろ先行大学として、今後もスポーツ分野において連携していきたいと考える。現在のUNIVASは、日大アメフト問題もあり、ガバナンス、指導者の人事、学業充実等が先行し、どちらかと言えば、学生目線ではないように感じている。また、学内の教員においては、全教員からコンセンサスを得られていない現状もあり、UNIVAS加盟には至っていない。ただ、教員養成の国立大学として、「学校体育ではなく、今後の『学校スポーツ』がどうあるべきか？また今後の『学校のスポーツ』の将来像を検討しながら、その状況において、初等・中等・高等教育機関の教員がどうあるべきか？」を模索しながら、大学の一つの事業として運営したい、とのこと。 同大学の視察見学と大学スポーツの結果 男子バレーボール部:インカレベスト4 女子バレーボール部:インカレ優勝 男子ハンドボール部:インカレ優勝 女子ハンドボール部:インカレ 駅伝部:箱根駅伝出場(関東大会)出場 テニス部: と今年度は華々しい結果である。しかしながら、施設においては、特に良い環境ではなく、最低限度の施設だなと感じた。特にハンドボール部は一般的に室内競技でありながら、同大学では室外競技として2面コートであったことは非常に驚いた。
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> 研修会配布資料 筑波大学 情報交換における資料



※本書面は出張精算時に提出すること。最終的に出張精算書とともに会計課にて保管。

【地域連携室】令和元年度復命書（191225 鹿屋体育大学視察及び情報交換）

学長	学部長	受任者

事務局長	事務局次長	予算執行部署長	所属課長

令和元年度出張復命書

学校法人 九州文化学園
長崎国際大学
学長 中島 憲一郎 殿

令和2年1月8日

申請者

所属・職名:地域連携室・室長

氏名 徳吉 剛 (印)

下記内容にて出張致しましたので、復命いたします。

期 間	令和元年12月25日(水)4時30～20時	
出張先	鹿屋体育大学スポーツアライアンス室及び経営戦略室	
業務目的	鹿屋体育大学におけるスポーツに関する支援・振興における情報交換	
業務内容	同上	
スケジュール ならびに 業務遂行状況 (相手先の所属 氏名等を含めて 具体的に記入)	日 付	業務遂行状況
	12/25(水)	大学発⇒鹿屋体育大学着、情報交換⇒終了後 鹿屋体育大学:高橋仁大先生、萩原悟一先生、永松巖経営戦略課長
報告事項 ならびに 今後の進め方	<p>【会議内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同大学は、学生の90%部活動所属し、ほぼ競技力向上がメインであり、「BLUE WINDS」という「スポーツ庁採択事業」の初年度採択大学として、2017年～2018年補助金を獲得して事業展開を行なったが、実は上手くいっていない。理由としては、前述のとおり学生は競技力向上がメインであり、指導者も同様。ただ、同大学と鹿屋市との連携が強く(現鹿屋市長と同大学学長)、「企画・イベント」は基本的には成功している。 また鹿屋市から、2015年3月に鹿屋体育大学「スポーツパフォーマンス研究棟」が設立された際に、総工費13億の内、2.5億を鹿屋市が負担したこともあり、鹿屋市から依頼があるスポーツ関係のイベントは基本的には鹿屋体育大学にて行っているとのこと。 ・またスポンサーには「財宝」が1年/4000万円×5年間＝計2億円が付いており、共同研究、その他に利用しているとのこと。 ・他の企業との協賛については、現金ではなく、品物を支給してもらっているとのこと。 例)5万円協賛金⇒5万円分の現物支給。 <p>正直、鹿屋体育大学での「スポーツ支援・振興」の分野においては、発展途上ということを感じた。本学が「スポーツ支援・振興」の分野で、先行すればほぼ「九州 No.1」の地位確立になり、スポーツ分野における地域・社会貢献、及びスポーツ系学生募集にも繋がると感じた。</p>	
添付資料	配布資料他	

※本書面は出張精算時に提出すること。最終的に出張精算書とともに会計課にて保管。

【地域連携室】令和元年度復命書（200120～27NCAA 視察研修 スポーツ庁）

学長	学部長	受任者

事務局長	事務局次長	予算執行部署長	所属課長

令和元年度出張復命書

学校法人 九州文化学園
長崎国際大学
学長 中島 憲一郎 殿

令和元年 2月 11日

申請者

所属・職名:地域連携室・室長

氏名 徳吉 剛 ㊟

下記内容にて出張致しましたので、復命いたします。

期 間	令和 2年 1月 20日(月)7時半 ～ 1月 26日 23時半	
出張先	米国:カリフォルニア州アナハイム近郊 3大学視察及びNCAA コンベンション会議参加	
業務目的	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ「NCAA 視察研修」におけるアメリカ大学スポーツと日本の大学スポーツの比較の為 ・本学における「スポーツ支援・振興室」、「NIU スポーツサポートセンター」の立ち上げ、さらに本学も加盟している「UNIVAS」と本学のスポーツ系学生約 400～500 名のサポート体制環境整備について、大学スポーツの本場である「NCAA」を視察し、検討する機会の為 	
業務内容		
スケジュール ならびに 業務遂行状況 (相手先の所属 氏名等を含めて 具体的に記入)	日 付	業務遂行状況
	1/20(月)	長崎空港⇒羽田空港⇒ロサンゼルス空港
	～	NCAA 視察研修
	1/26(日)	ロサンゼルス空港⇒羽田空港⇒長崎空港
報告事項 ならびに 今後の進め方	<p>【主な報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・添付資料「2020NCAA コンベンション」視察研修レポート参照 <p>今回の視察研修において、本学におけるスポーツ系学生に対する支援、並びに地域への「スポーツ振興」活動に対するサポート体制の整備については、必要不可欠なことであったと感じた。</p> <p>特に添付資料の「AD(アスレティックデパートメント:スポーツ系学生に対する支援部局)による学生アスリート開発プログラム」、「学生アスリートの経験に関する NCAA GOALS 調査」、何れ筑波大学 AD 局より情報提供いただいた資料を拝見、さらに今回の「NCAA 視察研修」時の「NCAA コンベンション会議」での資料を拝見しても、本学のスポーツ系学生に対する「スポーツ支援・学業支援・キャリア支援」は、必要不可欠事項であり、実行後は、スポーツ系学生のアスリート幸福度(NCAA では、学生満足度ではなくアスリート幸福度)が向上し、今後の学生募集だけでなく、OB・OG の愛校心の向上に繋がると確信した。</p>	
添付資料	「2020NCAA コンベンション」視察研修レポート 他	

※本書面は出張精算時に提出すること。最終的に出張精算書とともに会計課にて保管。

子どもたち、長崎国際大学に集合！

NIU キッズ キャンパス

「子ども版長崎国際大学公開講座」 対象：小学生

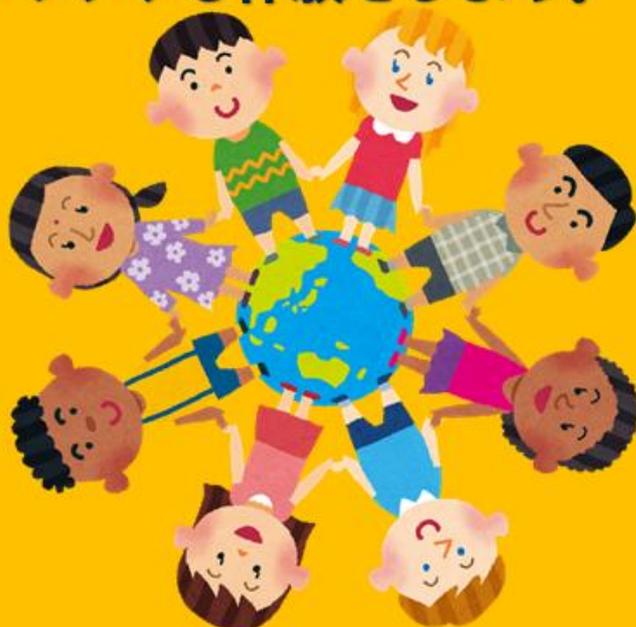
【開催日時】

(参加費無料)

令和元年11月30日(土)9:00~12:30

9:00~受付 9:30~オリエンテーション 10:00~1時間目 11:30~2時間目

大学の先生、お兄さん、お姉さんと
ワクワクする体験をしよう。



携帯電話での申込みはこのQRコードをご利用ください。

【受付方法】

裏面の受講講座を選択し、「長崎国際大学ウェブサイト
: EVENT」の「申込フォーム」からお申し込みください。

<http://www.niu.ac.jp> 締切日 11/27(水)

※「NIUキッズキャンパス」の参加申込については、「長崎国際大学ウェブサイト」のみとなります。
※定員になり次第、締切となります。なお定員による申込み不可の場合のみご連絡いたします。



お問い合わせ先
長崎国際大学 地域連携室 TEL 0956-39-2020(代)
FAX 0956-39-3111(代) E-mail renkei@niu.ac.jp
〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町2825-7

主催：長崎国際大学 後援(申請中)：長崎県教育委員会、佐世保市教育委員会
九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム

※「NIUキッズキャンパス」は、平成31年度学長兼量経費「イノベーション・経営人材育成～大学発ベンチャー設立支援事業」、並びに強化指定部のサポートについてはスポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」により運営を行ないます。

いつも、人から。そして、心から。
長崎国際大学
 Nagasaki International University
キッズキャンパス

受たい講座を選んでください。
 1時間目で1講座、2時間目で1講座
 合計2講座です。
 ただし、連続して同じ講座を受けることは
 ダメですよ！

- | | | |
|--|--|---|
| <p>1 アイヌ文化体験教室
「アイヌ文様の切り絵づくり」</p> <p>アニメやマンガでも出てくるアイヌ文様を作ります！アイヌは北海道などの寒い地域に住んでいた日本の先住民族です。アイヌの先生から切り絵を学び、本当のアイヌ文化を楽しみましょう！ 定員15名
長崎国際大学 ゲイグ 研究室</p> | <p>5 お茶室でお茶を点てて飲んでもみよう！</p> <p>おいしいお茶の点て方を学んでもよう！そしてお茶の飲み方やお菓子の食べ方をやってみよう！ 定員15名
長崎国際大学 茶道文化</p> | <p>9 JAL折り紙ヒコーキ教室</p> <p>1枚の紙を「切らない」「貼らない」で作る、「動力なし」で「よく飛ぶこと」が「折り紙ヒコーキ」の特徴です。折り紙ヒコーキ協会認定の指導資格を持った指導員が折り方を教えます。みんなで楽しく折り紙ヒコーキを飛ばしましょう！ 定員15名
1時間目:1~3年生、2時間目:4~6年生
日本航空 長崎支店</p> |
| <p>2 統計って何だろう？</p> <p>雑誌のアンケートから国の調査まで、世の中は統計であふれています。「統計とは何か」「統計はどんな役に立つのか」を学びます。また、グラフについてもその役割を学び、グラフづくりを体験します。定員：15名 必要な物：筆記用具、定規、色鉛筆 佐世保市政推進センター</p> | <p>6 笑顔で楽しむ野球教室</p> <p>福岡ソフトバンクホークスのプロ選手と本学硬式野球部員によるコラゴ教室。広いグラウンドで打ったり、投げたり、走ったり、野球の楽しさふれるだけでなく、笑顔で運動することの楽しさを教えます。 定員25名
長崎国際大学 硬式野球部</p> | <p>10 自分の夢をつかむにはどうすればいいの？
一緒にかんがえてみよう。</p> <p>何であの子は勉強できるの？何であの子はスポーツできるの？ちょっとした気づきでクラスの人気ものになれるかも？一緒にかんがえよう！ 定員15名
大塚製薬 株式会社</p> |
| <p>3 カードゲームで学ぶ！
「パン屋さん経営体験授業」</p> <p>あなたはパン屋の社長さんです。「最高のパン屋」をめざすカードゲームに挑戦してみましょう。作戦を考えたり、いろんな出来事が起こったりします。社長になって「佐世保で一番のパン屋」をめざしてみませんか。 定員15名
対象 4年生～（3年生以下は保護者同伴）
十八銀行 地域振興部
東京海上日動火災保険</p> | <p>7 テニス教室
～目標は、錦織圭、大坂なおみ！～</p> <p>テニスを初めて体験する子ども達、大歓迎です。当日は、スポンジボールや柔らかいボールを使って、大学生と一緒に楽しくテニスをやりましょう。 定員15名
長崎国際大学 テニス部</p> | <p>11 新聞って何だろう
子どもも大人も楽しく新聞を読もう</p> <p>新聞は情報がいっぱい詰まった紙です。情報を読み解く力、考える力が身につきます。新聞ができるまでのビデオを見た後、実際に親子で新聞をめくり、一押し記事や写真を探してみよう！ 定員10名
長崎新聞社</p> |
| <p>4 銀行やお金に関する話と模擬紙幣を使ったお金の体験</p> <p>銀行やお金に関する話のほか、模擬紙幣（銀行員がお金を数える練習用のお金）を使ったお金の数え方や、1億円の高さや大きさを体験してみよう！ 対象 1～3年生 定員15名
株式会社 親和銀行</p> | <p>8 マイクラフトでコンピュータプログラムを勉強しよう！</p> <p>マイクラフトでプログラムを勉強！そしてスクラッチでキャラクターを動かしたりジャンプさせるゲームを作りましょう。目指せゲームプログラマー！ 定員20名
長崎国際大学 尾場 均 研究室</p> | |

申込開始日
10/31(木)
 長崎国際大学ホームページ、又は左のQRコードからお申込をお願いいたします。



必要事項
 ①保護者氏名
 ②連絡先（本企画の連絡用のみ使用）
 ③受講者希望講座番号
 ④参加者氏名・所属学校・学年
 ⑤ご住所 ⑥当日同伴する人数

携帯電話での申込みはこのQRコードをご利用ください。

チャレンジスポーツ

子ども対象スポーツ教室開催！親子でも兄弟でも参加可能！

大学生と一緒にスポーツを楽しみませんか？

場所：**長崎国際大学**

参加費(保険料込)**300円(大人100円)**

時間：**19:00～21:00**

随時、受付します！途中からの参加可能です！

	日付	実施種目		日付	実施種目
1	6月1日	バレーボール	6	9月21日	親子体操(いむらSC)
2	6月29日	陸上	7	10月12日	武道(空手道・剣道)
3	7月6日	サッカー	8	10月19日	ラケットスポーツ
4	7月27日	ソフトボール	9	11月9日	アーチェリー
5	9月7日	ラケットスポーツ	10	11月16日	NIU大運動会！

*ラケットスポーツとは、テニス・バドミントン・卓球などのスポーツです！

*12月7日・14日は予備日とします！



チャレンジスポーツスタンプカード配布中！
たくさん参加して、素敵なメダル・賞状をもらおう！



バレーボール



親子体操



剣道



空手道

CPS NPO法人
IMURA いむらスポーツクラブ

↑FAX 送信方向↑

2019 子ども対象「チャレンジスポーツ」参加申込

参加する項目を チェックしてください。		<input type="checkbox"/> バレーボール <input type="checkbox"/> 武道 <input type="checkbox"/> アーチェリー <input type="checkbox"/> 親子体操 <input type="checkbox"/> サッカー <input type="checkbox"/> ラケットスポーツ <input type="checkbox"/> 陸上 <input type="checkbox"/> ソフトボール			
(フリガナ) 代表者名		年齢	性別	男・女	
住所		〒			
連絡先		TEL:			
参加者名簿	氏名	フリガナ	年齢 (歳)	性別	備考(既往症、 注意が必要なこと等)
	1				
	2				
	3				
	4				
5					

*チャレンジスポーツにご参加の方は、事前にメールもしくは FAX で参加者名簿（人数）などをご連絡いただけますと、スタッフ配置の参考にさせていただきます。

***予約なしの当日参加もお待ちしています！**

主催：長崎国際大学国際観光学科スポーツツーリズムコース、NIUS
 協力：東部スポーツクラブ「きずな」、NPO 法人いむらスポーツクラブ
 後援：九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム
 *本企画の運営における学生サポート（11/9,16 実施分）は、スポーツ庁採択事業
 「大学スポーツ振興の推進事業」の補助金を活用しています。
 お問い合わせ・お申し込み先： 宮良 研究室 E-mail miyara@niu.ac.jp

*** Facebook にて、チャレンジスポーツの活動をレポートしています！**

「長崎国際大学スポーツツーリズムコース」を検索してみてください！

***活動の様子を Facebook や HP、新聞などの広報媒体に使用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。使用についてご質問などございましたらお気軽にお問い合わせください。**



サッカー



ラケットスポーツ



アーチェリー

20191101Ver.

スポーツ系OB・OGとスポーツ系現役学生とのジョイントワークショップ

【日時】2020（令和2）年2月27日（木）14：00～16：00

【場所】2203 教室

【対象】スポーツ系現役学生

【スポーツ系OB・OG参加者】

長崎国際大学地域連携室室長兼スポーツ・アドミニストレーター 徳吉 剛

長崎国際大学国際交流・留学生支援室 宮山 銀栄

長崎国際大学テニス部元主将（人間社会学部国際観光学科4年） 松尾三太（内定先：東七隈）

【主旨】スポーツ系現役学生に対し、競技力向上は勿論のこと、キャリア教育、就職活動等、学生生活4年後の社会人に向けて、4年間の学生生活においてどのように活動したらよいか、またどう活動すべきかをスポーツ系OB・OGとワークショップ形式行ないながら、理解を深めることを目的とする。

【テーマ】4年間の学生生活について：競技力向上、ゼミ生活、キャリア教育、就職活動、資格取得等の自己啓発活動、ボランティア活動、突発的な事案発生（新型コロナウイルス感染症対策）他

【ジョイントワークショップ】

①グルーピング

②自己紹介

③進行：スポーツ系OB・OG タイムキーパー：（ ）

テーマ：競技力向上、ゼミ生活、キャリア教育、就職活動、資格取得等の自己啓発活動、ボランティア活動他

④ワークショップ（1テーマ）3分：説明 3分：付箋タイム 5分：意見交換 2分：まとめ
2分：発表 2分：レスト

⑤発表：感想

⑥お願い：感想については、地域連携室代表メール：renkei@niu.ac.jp に3/3（火）までに。

【資料】・テニス部情報

・新型コロナウイルス関連資料 2種類

・本学における「スポーツ支援、スポーツ振興」の動き

【担当】

地域連携室 担当：徳吉 剛

スポーツ系 OG・OB と現役学生とのジョイントワークショップでの感想

・【1年男】

私は2月27日に開かれたジョイントワークショップにテニス部の一員としてOB・OG、徳吉監督に4年間の大学生活や部活動、就職活動の経験をお話ししていただき、そのお話しをもとに今後の生活や計画を見直しました。

その中で一番感じた事は就職活動で活かせる勉強であったり、就職した後のスキルであったり、また部活においても王座等の大事な試合を見据えた練習等を今の早い段階で取り組んでおくその後々苦勞せずまた就活でも部活でいい結果に繋がると感じました。

就職活動ではまずは自分のなりたい職業を見つけ、それに必要な資格をとったり勉強に取り組んでみたいと思いました。

部活では近々の試合である春季大会での目標のインカレ予選出場を目指し、グループ活動で出たような練習やトレーニングを積みたいです。

今回のこのような貴重な活動を開いていただきありがとうございました。

・【3年女】

今回の交流では、テニス部OB・OGのこれまでの経験談や、就活と部活について知ることができました。今、就活・部活でかなり悩んでいるのですごくありがたい交流会でした。部活では、キャプテンとして一人でやっていく中でうまく行かないことや悩みがありました。

しかし、先輩方の考え方や四年間どう過ごしてきたかを聞いて気持ちの部分でも自信を持てるようになりました。就活についても、まだ焦らなくていいから少しずつやっていけばいいよ。とアドバイスをもらい焦らずじっくりやっていこうと思っています。大学生活の後悔は、勉強をもっとやればよかった。と3人とも話されていました。後悔のないように今できることをやっていければ良いと思っています。

・【1年女】

今回の交流会では、テニス部を卒業した先輩方から大学生活の過ごし方や、部活、就活、これまでの経験談などの話を聞くことができました。

私はまだ1年生なので、これからのためになる話を聞くことができて良かったです。また、部活に関しての女子の考え方を聞くことができたし、私の考え方を伝えることができたのでとてもいい機会になりました。

3人とももっと勉強をやれば良かったと後悔していたので、あと3年ある大学生活で計画的に資格の勉強をしていこうと思いました。

大学生活はあっという間に終わってしまうので、後悔がより少なくなるように自分なりに頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。

・【1年男】

先輩達の昔どのようにして目標を立てそのためにどのような練習をするかなど、目標に対する詳しい計画をすることが大事なことがより深く分かりました。いい経験になりました。

・【3年男】

私が先日、OB・OGの方とのジョイントワークショップに参加をさせていただいた感想としてまず、一番に感じたこととしては、自分の考えをしっかりと話せるようになること。そして、様々な方々に対して自分をアピール出来るようになること。

一年生でも四年生でも関係なく、これから社会に出ていくことになる立場として、まずは自分の意見を言葉でまとめて話せるようになることの大切さというのは不可欠だと思います。

それに加えて話の内容で自分自身をアピールできる種を持つこと、それは大学生活の4年間で必ず身につけておくべき強みだと感じました。

それから他の人の意見を踏まえた上で、話をする事が出来る。そういった社会人になりたいと思いました。

・【1年男】

私は、OG、OBの方の話を聞いて、何事にも自分から行動する事、自分から学ぶ事が大切だという事を学びました。それは、部活だけではなく学業においても同じ事だという事、また自主性が体に身につくのであれば就活の時にも活かせる事、そして、社会人になってからは更に自主性が大切だと聞き、私には社会に出てからも自主的に出来るか考えた時にまだまだ足りないと思ったので、これから自主性を身につけていきたいと思いました。

・【2年男】

私は、OB、OGの講話を聞いて、学生の時にどういう生活や何を頑張っていたかや、あの時やっとならなければよかったことを知ることが出来ました。

私は、今後部活だけでなくボランティア活動や研修に取り組んで自主性を磨けたらいいなと思いました。

また、部活ではしっかり集中して、今しか出来ないことをしっかりしたいと思いました。大学にいているのも、部活を出来ているのも親のおかげなので、しっかり感謝し今関わっている仲間と切磋琢磨し、自分を成長させて行けたらいいなと思いました。

・【1年男】

先日のジョイントワークでは徳吉監督、松尾前キャプテン、宮本さんより多くのことを吸収できました。

徳吉監督が日頃からよく言われている「ネタを作る」ことがいかに大切であるか感じました。強化指定部であり、体育会系部活として結果を出すことを求められている立場上どうしてもテニス優先となることが多くあります。その中で大学祭の募金活動であったり、キッズテニスキャンパスであったりと地域にどう自分たちが貢献するか・どのような形でサポートができるかを考えて実行することは社会人として求められる最低限のスキルだと思います。それを部活で行っていただけなので周りに気を遣わずのびのびと活動に取り組むことができ、本質を理解することができました。

社会人の準備期間である大学4年間は多くのことを経験できるように長期休暇が取られていると思います。私はテニスだけでなくより多くのことにチャレンジしたいです。そのために用意されていることだけするのではなく、自分から調べて経験することがより必要になってくると思います。それを先日のbeing研修では深く考えさせられました。beingで学んだことと今回学んだことをしっかり自分自身の中に落とし込んで残り3年間過ごしていきたいと思います。

・【2年男】

交流会を得て、学校生活や部活動のことを見つめなおして取り組むことができました。チームのみんなと交流を深めてとてもいい経験になりました。

・【1年女】

OG、OBの方と交流をして、今までのことやこれからのことについて話し合えたので良かったです。これからの部活にもっと力を入れていきたいです。先程は感想を間違えてしまいすみませんでした。

・【1年女】

ジョイントワークショップでは、グループワークがあり、他の人の意見を共有したりできたし、自分の意見も共有できたので良かったです。この機会を活かして、就活などでグループワークがあった時は、それを活かして行きたいと思っています。これからの学校生活や部活のやり方などをみなおして頑張っていきたいとおもいます。

・【3年男】

OB・OGとのジョイントワークショップに参加して感じたことはOB・OGの昔の考えと今の考えや社

会人としての振る舞い方や学生の頃の生活や部活動においての厳しさなど他人の視線から様々なことを知ることができたことだと思います。

そして実際にあった働いている時の失敗談やお話を聞いて学生社会人での責任感の持ち方の違いを感じました。

そして何より一番自分にプラスになったことは多くの人とグループワークを行うことにより様々な意見を聞くことができ、良い情報や新たな考えを発見することができ、成長に繋がったと思います。

これから様々なイベントや活動に積極的に参加して行こうと思いました。

- ・【1年男私はこのOB.OG会で沢山のことを学ぶことが出来ましたし、まだまだ知らないことがたくさんある中で知れていったと思います。

競技力向上のことについて話し合いをしていった中で、やっぱり一番大切なのが目標ということがわかりました。まずはどの事にも目標という事から決めていこうという事があり、目標の大切さを感じました。

先輩方の話を聞いて、やっぱり今の自分達とはまだ遠くて、練習は練習時間ではなく、短時間や走り込みを多くする事で試合に勝ち上がったということを知って意識をかなり持って練習されていたんだと感じられました。】

アンケート：スポーツ庁採択事業

記入日：2020年 月 日

1. 性別： 男 ・ 女
2. (学生) 学年： 1年 ・ 2年 ・ 3年 ・ 4年
(社会人) 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代
60代 ・ 70代～
3. 所属 (学生) _____部 ・ 部活動無所属
(社会人) ※社会人の方は、スポーツ系の団体に属しているかいないかで記入してください。
無所属 ・ _____部 又は 団体
4. 今回の企画、どのようにして知りましたか？
チラシ ・ 新聞 ・ 大学HP ・ 知り合いからの紹介
その他 ()
5. なぜ、このセミナーを受講しようと思いました。理由を教えてください

今回のセミナーについて、お伺いします。

6. セミナーの満足度

1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

アンケート 共通質問 3

1 1. あなたは、現在、文部科学省やスポーツ庁が推奨している「一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS」という団体を知っていますか？

知っている ・ 知らない

1 2. 大学がスポーツの分野において、「大学スポーツ振興」や「地域スポーツ振興」について活動することに対してどのように感じますか？

少し必要 ・ 必要 ・ 分からない ・ 必要ない

【理由】

1 3. 本学が2019年度、スポーツ庁「大学スポーツ振興の推進事業」に九州地区の大学では「本学のみ」採択されたのは知っていますか？

知っている ・ 知らない

1 4. 本学のHPに「NIU スポーツ」ホームページがあるのを知っていますか？

知っている ・ 知らない

皆さん、是非、一度閲覧してください。

本学はこれから、大学のスポーツ、地域のスポーツに対して、「支援・振興」の面で活動していきます。一緒に頑張りませんか？

何かありましたら、「長崎国際大学地域連携室：徳吉（スポーツ・アドミニストレーター）」までお問い合わせください。

地域連携室代表メール：renkei@niu.ac.jp

どうぞよろしく申し上げます。

アンケートの回答、ご協力ありがとうございました。

参加者アンケート

スポーツ庁採択事業：大学スポーツ振興の推進事業

1. 性別： 男 ・ 女

2. 所属： 小学校 ・ 中学校 ・ 保護者 ・ 指導者

年齢： 6～11歳 ・ 12～14歳 ・ 15～17歳 ・ 社会人
(小学生) (中学生) (高校生)

3. 企画についてはどのように知りましたか？

チラシ ・ 大学HP ・ 知り合いからの紹介 ・ 指導者からの紹介

その他 ()

4. なぜ、この企画に参加しましたか？

5. 企画の満足度についてお伺いします。

① 2/1 (土) 実施した「部活動プロジェクト」について

※本学の野球場に来て、野球部と練習した企画

1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

感想：

② 2/15 (土) 実施した「大学部活動インターンシップ」について

※本学の野球場に来て、野球部と練習し、終了後「セミナー」を受講した企画

1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5

感想：

6. 今後、同様な企画として、どのような内容を希望されますか？

7. 大学がスポーツの分野において、交流戦等の「大学スポーツ振興」や体験教室等の「地域スポーツ振興」について活動することに対し、どのように感じますか？

少し必要 ・ 必要 ・ 分からない ・ 必要ない

理由：

8. その他：何かありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

【2/1（土）部活動プロジェクト：野球】参加者アンケート回答

○4. なぜ、この企画に参加しましたか？

「中学生」

- ・いつもの練習だけでなく、大学ではどんな練習をしているのかな、とか高いレベルでがんばりたいからです。
- ・より高いレベルでの練習を希望したから
- ・上の技術を持っている選手と練習したかったから
- ・少しでも自分の技術を磨けと思ったから
- ・上級者のプレーを見て自分の野球に活かしたかったから
- ・楽しそうだったから
- ・大学というレベルの高い環境での練習を実際に行い、今後の自分たちの練習や試合で生かしていこうと思ったから。
- ・大学生の高いレベルを間近で見て真似し、自分の物にして、試合で活躍したいから
- ・硬式ボールで実践的な練習に参加したかったため
- ・大学生行っている練習について知りたかったから
- ・自分に足りていない技術や知らないことを知るために
- ・部活で指導者から紹介されたから

「保護者」

- ・大学の練習に興味があった。また日頃、あまり練習が出来ていないから、少しでもプラスになれば・・・
- ・子どもが興味を持ったから
- ・大学生（他世代）と交流できるよい機会だと思ったから
- ・大学生に指導を受ける機会を得ることができ、また、年上の人とコミュニケーションを図る良い機会になると思ったから。
- ・学生との交流の機会はなかなかないから
- ・自分の不得意な所を克服出来ればと思い参加させました。
- ・高いレベルの練習を実際に体験したいと思ったため
- ・どのような企画なのか興味を持ちました。
- ・大学野球に興味があったので参加しました
- ・高いレベルの練習を体験したかったから
- ・大学生が日頃どんなことを意識して練習しているのかみてみたかったから
- ・指導者からの紹介があったので
- ・通常とは異なる環境での練習が子どもにとって刺激になると思ったから

○5. ①感想：2/1（土）実施した「部活動プロジェクト」について

「中学生」

- ・まずはこのような企画をしてくれてありがとうございます。いつも学校のグラウンドではこう中学・高校の部活動の関係で練習が出来ない状況の中で、今回の様に大学生との練習、指導、とてもよかったです。僕たちもがんばりますから、ぜひまた企画してください。お願いします。
- ・硬式を打つという珍しい体験ができた
- ・技術が吸収できたから
- ・大学生に練習の仕方を教えてもらえたから
- ・大学の選手と野球でふれあい、硬式のおもしろさを知ることができた。また、打撃面でも、守備面でも個人的にプレーのコツを教えてもらい、今後の練習や試合でも生かしていこうと思った。

- ・大学生の人からわかりやすく教えてもらえた
- ・楽しかった
- ・大学生と貴重なノックやキャッチボールをしたり、アドバイスをもらったから
- ・改めてアップの重要性が分かりました。
- ・練習前の体操など参考になりました
- ・捕手として知らなかったことを知れてよかった
- ・練習内容を知ることができ、自分たちの練習に取り入れることが出来てよかった

「保護者」

- ・まずは、このような企画を考慮していただき、また子ども達のために指導してくれた大学野球部の指導者の皆さん、野球部員の皆さん、また長崎国際大学関係者の皆さん、本当にありがとうございました。なかなか中学校の部活動の練習環境は、中高一貫のため、グラウンドでは練習が出来ない状態が多く、本当に困っていました。当日の朝は、息子はとても緊張していたのですが、始まったら、大学生の部員が優しく、また盛り上げていただいたみたいで、帰って来てからは「今日は楽しかった。大学生の人は上手だった。」興奮状態でした。その状態を微笑ましく、親としてもうれしかったです。本当にありがとうございました。
- ・帰って来てからの子どもの姿を見たら、本当に満足したんだなと思いました。ありがとうございました。
- ・試合に望む前の身体づくりが参考になったようです。
- ・大学生と一緒に練習する事で、高い技術の下には、基礎があり基礎の重要性に気づく事が出来たと思う
- ・初めての試みに子供達の緊張が伝わりましたが、大学の指導者、学生の皆さんの気遣いがそれ以上に伝わり、保護者としては楽しく参加できました。
- ・大学生から指導していただき、とてもいい刺激になったと思います
- ・個別指導で分かりやすかった
- ・ポジションごとの指導をもう少し長くしてほしい
- ・素晴らしい環境の中で練習、指導をして頂き、久しぶりに興奮して野球の話しをしてきました。
- ・整った設備の中で、ハイレベルな大学生との練習は気持ちとも引き締まり、野球に対する気持ちが高まったようです。

○5. ②感想：2/15（土）実施した「大学部活動インターンシップ」について

「中学生」

- ・まずはこのような企画をしてくれてありがとうございます。いつも学校のグラウンドではこう中学・高校の部活動の関係で練習が出来ない状況の中で、今回の様に大学生との練習、指導、とてもよかったです。僕たちもがんばりますから、ぜひまた企画してください。お願いします。
- ・専門家によるセミナーが参考になった
- ・食事の大切さを理解できた
- ・食事と睡眠の大切さが分かったから
- ・大学生の人とよくコミュニケーションをたくさんとることができた
- ・勉強になった
- ・天候があまり良くなく、練習の時間が少なくなりましたが、大学生のレベルの高いノックを見ることができ、いい声の出し方を学ぶことが出来た。また、練習後のセミナーでは、成長期である自分の体をどのようにして丈夫にするのかを知ることができた。また、セミナーをしてくださった大塚製薬の方のお話とても分かりやすく、とても理解しやすかった。

- ・自分のからだを作っている食べ物の大切さを教えてもらったり、熱中症予防についても教えてもらったから
- ・朝食の大事さが分かり、出された食事は残さず食べようと思いました。
- ・野球に必要な生活を知れてよかった
- ・成長や健康などについて知ることが出来てよかった

「保護者」

- ・2/1に一度、練習に行ったせいか、「また大学で練習が出来る」と喜んで当日は参加しました。また当日の朝、雨が降っており、開催は難しいなと思っていたのですが、息子からは「室内練習場もあって、そこで練習していた。上手かった」とも言っていました。子どもの嬉しそうな顔を見ていたら、よかったと安堵しました。
- ・今回で2回も大学で練習させていただいたことで、先日の練習試合があったのですが、声も出てプレーも伸び伸びとして、なんか今までと違いました。子どもたちのために本当にありがとうございました。
- ・学生が積極的に声をかけて、盛り上げてくれたから。
- ・グラウンドでの練習時間がもう少し欲しかったです。講義は挨拶・睡眠など、子供達が改善すべき点、食事については親がしてあげられることなど、野球の練習以外にできることを学びました。大変よい内容でした。保護者がもっと参加すべきだったかと思いました。
- ・スポーツをする上での食、睡眠の重要性を学ぶことができて良かった。
- ・セミナーでは成長期における食事、栄養面、さらに睡眠も重要であることがわかった。やはり、子ども達も食べるだけでなく食育の機会を作ってもらえてよかったから
- ・2度目の参加で子供達にリラックス感がみられ、ボールの追う姿が前回より伸びやかに見えました。セミナーはスポーツをする上での栄養や睡眠の大切さを再認識しました。沢山の保護者に参加していただきたい企画だと思います。
- ・頂いた資料はとても参考になりました。
- ・大学生とふれあいが楽しかった。食事・栄養について勉強になった
- ・栄養指導が子ども達にとっていい勉強になったと思う
- ・中学生になってから、時間的な制約があり朝食をおろそかにすることがあったのですが、意識して食べるようになりました
- ・栄養学についての指導は、食べることの大切さ食事に対しての意識が変わりました

○6. 今後、同様な企画として、どのような内容を希望されますか？

「中学生」

- ・ぜひ、同じ企画をお願いします。
- ・打撃練習
- ・守備練習
- ・効率の良い練習方法やより効果的な体の使い方など
- ・今回と同様の合同練習
- ・ピッチングを含めポジション別の練習をぜひ行ってほしい
- ・ピッチングやバッティングを見てもらってアドバイスをもらう企画
- ・試合を想定した練習などの企画を希望します。
- ・大学生と練習

「保護者」

- ・子どもも記載したと思いますが、是非、地元の大学は、スポーツの分野で地域貢献、地域スポーツ振興という観点から、今後も同じような企画をお願いします。
- ・スポーツの企画と勉強とセットの企画
- ・野球の練習とスポーツに関連したセミナー（ケガの予防や筋力トレーニングなど）
- ・もう少し時間があればよいと思った。
- ・学校の部活の時間が限られているため、短時間でできる練習や、自主練出来そうな内容を教えていただきたいです。
- ・実戦的なメニューを取り入れた企画を希望します。
- ・自宅で出来るトレーニングの指導やポジション別の実践的なゲームでの練習
- ・練習は勿論、試合に対するモチベーションの持ち方や自主練習のやり方の企画があったらと思います。
- ・守備の連係プレー
- ・ポジションごとの指導
- ・体幹トレーニング等も指導して頂けると嬉しいです

「指導者」

- ・大学生が中学校で部活動を実施しているところに行き、直接指導する
- ・戦術面での指導や講義をお願いします

○7. 大学がスポーツの分野において、交流戦等の「大学スポーツ振興」や体験教室等の「地域スポーツ振興」について活動することに対し、どのように感じますか？

「中学生」

- ・必要：地元の大学と地元の子供達とのスポーツを通しての交流は、とても大事だと思います。
- ・分からない：考えたことがない
- ・必要：たくさんの人にスポーツの楽しさを分かってもらえると思うから
- ・必要：自分の学校の外の人たちと一緒に活動することで、もっとレベルアップできると思うから
- ・必要：スポーツを続けていくよい機会となると思うから
- ・必要：地域の子供たちと関わり、そこから学ぶスポーツの素晴らしさ、おもしろさがあると思うから。
- ・必要：指導者が学校の仕事が忙しくて、なかなかゆっくりと聞きたいことを聞けないことが多いので、今回は聞ききたいことを大学生には聞くことが出来たり、実際にプレーしていることを間近で見ることが出来るから
- ・必要：スポーツをするきっかけにもなると思うので
- ・少し必要：地域の絆を深めることが出来るから
- ・必要：野球のレベルをもっと上げたほうが良いと思うから

「保護者」

- ・必要：日本の最西端、また子ども達が属している学校の練習環境が悪い中、佐世保北中だけでなく、他の中学校と一緒に、他の競技も同様、大学、行政、企業も交えて、地域の子供達に対して、サポートをお願いしたい。
- ・必要：スポーツを頑張っている大学生の姿を是非、子ども達に観て欲しいし、また大学の指導者、さらに長崎国際大学はミズノとも提携したと聞いています。もっともっと地域に還元していくと、大学のブランドも上がると思いますので。
- ・必要：スポーツをする機会が増えることはよいことだと思うから

- ・必要：異年齢との交流を通してお互いに気づきや学びがあると思うから。
- ・必要：子供達も楽しそうにしていましてし、定期的に続けて頂けるとありがたいです。
- ・必要：スポーツをする機会をこれからも増やしてほしいです。
- ・必要：スポーツを通じての体力づくりや仲間が出来ることは大切だと思う。また、イベントを通じて地域の交流も出来ると思う。
- ・必要：年齢差はありますが、この2回だけの企画参加で子供達の目の輝きは違っていました。お忙しい中、企画から準備ありがとうございました。
- ・必要：大学生・中学生共に学ぶことが多くあると思うので必要だと思います
- ・必要：中学生となるとなかなか親の言う事を聞かなくなりますが、大学生のお兄さん方が、身をもってプレーを見せてくださったり、指導してくださることは、スッと入ってくるようです。親としては非常にありがたいと感じています。

「指導者」

- ・必要：大学生が地域スポーツの振興の一貫として、野球教室等を実施することで、夢やあこがれを持つことができ、中学生や高校生の部活動の活性化につながるため
- ・必要：現在はまだ地域と大学のつながりが希薄なので、そのような活動によって、互いにとって良い影響があると考えから

○8. その他

「中学生」

- ・今回、指導してくれた大学の野球部の指導者、大学生の皆さん、本当にありがとうございました。今度、試合を観に行き、応援したいです。

「保護者」

- ・大学生と中学生、たとえ年が違っても、志を持った者同士が野球のグラウンドで声を出して、動き回って、笑顔で、また真剣なまなざしは、「異世代交流」だけでなく、「地方の活性化」に繋がると思いました。企画してくれた方、そして賛同して子ども達を指導してくれた野球部の指導者、部員の皆さま、本当にありがとうございました。私は長崎国際大学野球部を応援します。がんばってください。
- ・野球の練習だけでなく栄養のセミナーを行っていただきありがとうございました。朝食やバランスのよく食べることの大切さ改めて学習できたようでした。野菜たっぷりみそ汁は実践させていただいています。
- ・企画・準備・運営等大変だったと思います。ありがとうございました。非常によい取り組みなので、今後もぜひ継続して頂けたらと思います。
- ・貴重な体験をさせて頂いてありがとうございました。
- ・今回はこのような機会を頂きありがとうございました。次年度も引き続き、この企画があることを期待しております。
- ・企画してくれた徳吉さん、新たな活動に尽力されてるんですね。大学生との練習なんてなかなか出来ないのありがたいです。

「指導者」

- ・2月1日、15日はお忙しい中、指導していただき、ありがとうございました。また、このような機会があればぜひ参加させていただきたいと思います
- ・先日は貴重な機会を頂きありがとうございました。ぜひ今後ともよろしく願いいたします。

長国大第 202 号
2019（令和元）年 11 月 7 日

各 位

長崎国際大学 地域連携センター
センター長 井上 英也

2019（令和元）年度第 1 回連携連絡会議開催について（お知らせ）

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は、長崎国際大学に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また本学における包括連携事業の推進にあたり、日頃よりご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、包括連携協定に基づき、今後の具体的な事業展開と円滑な事業実施を図るため、下記のとおり連絡会議を本学と連携いただいている皆さまと情報共有、並びに意見交換を実施したいと考えております。

つきましては、各ご担当者様におかれましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、ご出席賜りますようお願いいたします。

記

1. 日 時 2019（令和元）年 11 月 19 日（火） 15：00～

2. 場 所 長崎国際大学 本部棟 2 階 会議室

3. 出 席（予定）

佐世保市 企画部政策経営課、政策推進センター
長崎国際大学 地域連携センター、地域連携室
学校法人九州文化学園、並びに長崎国際大学と包括連携協定を締結している企業様、団体様
長崎大学 地方創生本部県北分室

4. 議題内容（案）

【第 1 部】 15：00～15：45

（1）本会議の主旨説明、及び名称について

（2）一般社団法人大学スポーツ協会：UNIVAS、スポーツ庁：大学スポーツ振興の推進事業、及び本学におけるスポーツ支援、振興他について

※【第 1 部】には、スポーツ系の教職員、並びに強化指定部の学生が出席いたします。

※今回の会議にて、ご提案等がありましたら、【出欠回答書】の【情報交換事項、その他】に明記してください。

以上

【お問い合わせ】

〒859-3298 長崎県佐世保市ハウステンボス町 2825-7
長崎国際大学地域連携室 担当：徳吉・中野
電話 0956-39-2020（代） E-mail：renkei@niu.ac.jp

2019（令和元）年度第1回連携連絡会議
－ 佐世保市と長崎国際大学との包括連携事業 －
【第1部】

1. 日時 2019（令和元）年11月19日（火） 15:00～

2. 場所 長崎国際大学 本部棟2階 会議室

3. 次第

(1) 挨拶 長崎国際大学 学長 中島憲一郎

(2) 出席者紹介：【資料1】、及び配布資料の確認

(3) 説明、報告、意見交換

説明、報告

1. 【資料1】 文部科学省、スポーツ庁、長崎国際大学、長崎県、佐世保市

- ・「大学スポーツの振興」に関する動向
- ・長崎県市町別年齢別推計人口（20181001現在）
- ・長崎県 スポーツ（テニス、バレーボール、野球）中学校 高校 登録人数
- ・「NIU スポーツサポートセンター（仮称）」設置構想に関する経緯
- ・スポーツ庁採択事業：長崎国際大学 ポンチ絵
- ・長崎国際大学公認団体体育部成績（11/10現在）

2. 【資料2、3】採択事業イメージ、事業計画書、実績、他

- ・イメージ
- ・事業計画書
- ・実績【資料4】
- ・ミスノ：プレイリーダー 1/11（土）実施

3. 【資料5】190621【内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局】まち・ひと・しごと創生基本方針2019について P14 スポーツ・健康まちづくりの推進

意見交換

(4) 審議事項

1. 会議の名称
【ご提案】スポーツプロジェクト推進協議会

(5) 依頼事項

1. 長崎国際大学 ～スポーツプロモーション事業＋学生スポーツアドミニストレーター育成事業
＝地方創生 NIU スポーツ人材育成事業～
事業実施における協力のお願ひ：学生の為、地域の子どもの為
2. 令和2年度 スポーツ庁概算要求主要事項
大学スポーツ資源の活用による地域活性化拠点形成支援事業
（前年度予算額：111,190千円）⇒ 令和2年度概算要求額：263,000千円

以上

2019（令和元）年度第1回連携連絡会議 出席者名簿（順不同、敬称略）

【第1部】15:00～

機関名	所属	職名	氏名
長崎県教育庁	体育保健課学校体育班	参事	井崎 健一郎
佐世保市	政策推進センター	センター長	檜楨 貢
		研究員	中島 万幸
	教育委員会	スポーツ振興課課長補佐	有川 和彦
大村市	企画政策部企画政策課	係長	松尾 直紀
		主事	松尾 亮佑
平戸市	教育委員会生涯学習課	課長	岩永 耕一
	総務部総務課	主事補	土肥 安寿彩
波佐見町	教育委員会	教育次長	福田 博治
十八銀行	地域振興部	業務役	小畑 雄一
長崎新聞社	佐世保支社 編集部	部長	西村 伸明
ミズノ株式会社	スポーツ営業本部 外商部 九州販売課	専任職	西川 耕治
日本航空	長崎支店	アシスタントマネージャー	坂本 高昭
長崎国際大学	地域連携センター	センター長	井上 英也
		副センター長 兼産学連携・研究支援センター 副センター長	尾場 均
		地域連携室	室長（兼スポーツ・アドミニストレーター）
	総務課	係長	坂本 亘
	地域連携室	室員	鶴田 都貴
学生	男子バレーボール部	主将	松本 滉樹
	女子バレーボール部	主将	鐘ヶ江 麻衣
	男子テニス部	主将	藤田 圭人
	野球部	副主将	坂本 博康

※【欠席】

・大塚製薬、V・ファーレン長崎、長崎医療センター、親和銀行